京城日報

九日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘一ヶ月金五拾五錢(郵送限前金)三ヶ月金壹圓六拾錢六ヶ月金參圓七拾錢▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲雜報欄内一行金壹圓貳拾錢▲特別指定一行金拾圓▲三號活字の一行は二號活字同樣▲六號活字の一行は五號活字同樣の事
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 (編輯)二三四番 (營業)一二四番 (販賣)二六〇番 振替貯金口座京城一三〇〇番

◎寺内内閣成立

—九日午前東京至急電報—

九日午後二時宮中に於て親任式を行はせらる可き寺内内閣の組織如左

内閣總理大臣 兼外務大臣 兼大藏大臣 伯爵 寺内正毅
内務大臣 男爵 後藤新平
陸軍大臣 (留任) 大島健一
海軍大臣 (留任) 加藤友三郎
文部大臣 岡田良平
司法大臣 松室致
農商務大臣 仲小路廉
遞信大臣 男爵 田健治郎

尚外務大臣には追つて本野子爵露國より歸朝の上任命せらる可く法制局長官は有松英義氏鐵道院總裁は後藤男の兼任内閣書記官長は兒玉秀雄伯なり—號外再錄—

◎寺内伯藏相兼任理由

勝田總裁大藏次官たらん

寺内伯の藏相兼任は少しく意外とする所なるが伯は最初三島彌太郎子の就任を希望したるも三島子拒絶せし爲め適任の藏相を得ず然るに内閣組織は一日を緩うす可からざる事情に差迫りしより伯の信ずる朝鮮銀行總裁勝田主計氏を次官として實際の事務を執らしめ伯自ら藏相を兼任する事となりたる次第なりと(東京特電)

◎長谷川元帥か 後任朝鮮總督

朝鮮總督の後任は上原參謀總長の轉任を見る可しとの説高きも確かなる筋より聞く所に依れば元帥伯爵長谷川好道大將親任せらる可しと(東京特電)

◎米國に來れる獨潜艇

獨逸潜航艇ウの五三號は七日午前突然ニューポート沖に姿を現はし大使館に宛たる公文書を陸揚したる後直に出港せり(紐育電報)

◎希臘國王の苦境

ブカレスト來電=希臘國王は目下斷然國民の意思に服するか又は位を退くかの二者其一を擇ぶべき破目に陥りつゝあり而て愈々國民の希望に副ふ迄も可成時日の猶豫を得んと苦心しつゝあり(倫敦電報)

猖獗を極めたる咸北鍾城郡穩城郡の牛疫は極力防疫に努めたる結果終熄するに至りしが又々九月十九日穩城郡萬浦面に一頭發生せるが防疫措置迅速なりし爲め一頭のみにて發生なしと

◎陸軍側の奉迎送

閑院宮殿下十二日朝鮮御通過に付白水軍參謀長は奉迎の爲め十一日午前九時十分發列車にて新義州に直行御召列車に陪乘して南大門驛著、同停車場にて下車更に夕刻歸任せる秋山中將陪乘し釜山迄奉送すべしと

◎鐵道局の奉送迎

閑院宮殿下朝鮮御通過に付奉迎送の爲め鐵道局より横井汽車課長和田參事の兩氏十一日朝新義州に出張御召列車に陪乘し釜山迄奉送すべしと

◎川村元帥西行

元帥子爵川村景明氏は松井少佐猪鹿倉副官を隨へ豫報の如く九日午前九時十分南大門發列車にて平壤に向ひたるが停車場には有力官民朝鮮貴族其他の見送り盛んなりき

◎軍司令官歸期

十一日歸任するやう報せし秋山軍司令官安藤參謀野津副官の一行は八日清津發十二日朝元山上陸同日午後四時五十六分龍山著列車にて歸任の事に確定せし旨軍司令部當局は語れり

◎銀行遊金激增

總督府最近調査に係る朝鮮内の銀行手許現在高は一千四百零五萬七千圓にして之れを前年同期に比すれば三百零二萬圓の增加を示し之れを前月に比するも七十數萬圓の增となり金融緩慢の趨勢益々甚だしく銀行業者は正に未曾有の遊金を手許に所有し居る形なりと

◎咸北春繭收量

咸北道本年春蠶收繭量は二百八十三石にして大正四年度の百七十一石に比すれば實に百十二石の激增を見たり又夏蠶收繭量は百六十石にて之れ亦た前年に比し著しき增額なりとす八月來一時

◎兩地電氣許可

咸興及び全州兩地電氣事業經營の許可近きにあるべしとは既報の如きが此程兩社共許可の指令あり咸興電氣會社は谷口小次郎氏外九名にて設立し資本四萬五千圓又全州電氣會社は國光五郎外十五名にて資本金六萬圓なりと

◎大同江命令航路

十月一日より大正六年三月卅一日に至る鎭南浦汽船會社受命大同江航路定期發著日時は九月廿五日附當局より認可され十月九日附官報を以て發表さる

◎平南畜産品評會

平安南道に於ては左記日程場所に於て畜産品評會を開催する筈

十月十日より翌十一日大同郡柴足面長水院に於て十四日十五日中和郡邑内十七八日江東郡邑内二十四二十五日陽德郡邑内廿四廿五日寧遠郡社倉

◎秋山視學官逝く

朝鮮總督府視學官秋山鐵太郎氏は江原京畿兩道當内に於ける學事視察の途病を得水原慈惠醫院に療養中なりしが藥石効なく歸邸後遂に永眠せり享年四十四悼哉

▲陞叙 視學官秋山鐵太郎氏病氣危篤の趣き天聽に達するや八日特旨を以て左の通り陞叙進位の御沙汰ありたり

朝鮮總督府視學官正七位 秋山鐵太郎
叙從六位叙高等官五等 賜三級俸

▲葬儀 故秋山視學官の葬儀は十二日午後四時自宅出棺大和町朋敎院に於て佛式に依り執行の筈なり

秋山視學官略歷

秋山鐵太郎氏は長野縣北佐久郡岩村田町の人明治三十五年東京高等師範學校を卒へ同年四月京都府師範學校教諭に任ぜらる是れ氏が就職の嚆矢にして其後靜岡縣立中學校、福島縣師範學校を經て明治四十二年十月韓國政府に聘せられて學部に入り併合後總督府京城高等普通學校及び京城中學校に執りしが大正三年十一月擢れて視學官となり以て今日に至る氏天資穩和にして快活に卓見あり朝鮮教育の改善に貢献せし處勘からざるのみならず今後氏の手腕に俟つ可き點亦多大なりしに遂に長逝す享年四十四歲悼む可し

◎佐藤軍醫部長登廳

新任駐箚軍々醫部長醫學博士佐藤恒丸氏は九日より軍司令部に登廳せり

◎救世軍正領就任

救世軍總司令官夫來智大佐は夫人同伴參領許溫氏の案内にて九日午前十一時總督府に宇佐美長官を訪ひ新任の挨拶を爲したり

西鮮行寸信

十月五日 鎭南浦にて 日新生

▲鎭南浦で眞先きに車を寄せしは中村組に御座候、此所は現在十萬圓の合資組織に候が更に之れを擴張して三百萬圓の株式組織と爲す可く認可申請中にて許可を得次第鮮内は勿論内地の重なる個處に支店を設け一層活躍を試むる計畫の由に候

▲金持の相場も昨今は暴騰致し一千萬圓以上のものでなければ駄目の趣に候が中村組の資産は今や一千五百萬圓と註せられ候へば既に其の資格を得て五百萬圓を剩し居り候譯に御坐候

▲其れより小生は富田商會を訪ひ濱田氏を訪ねたる後更に車を久原製錬所に飛ばし申候

▲當製錬所は目下第二期計畫の遂行中にて門内に近き左手の方には發電所の建設に急はしく製錬場内には二座の大熔鑛爐と四床の鼎吹爐との据付けにいそしみ居り候、案内者の言に依れば現在一箇月の受入礦量は約百二三十萬貫にして本年一月より五月に至る平均製産價額は一箇月金十三萬七千餘圓銀九萬二千餘圓、銅二十七萬餘圓合計三十四萬七千七百餘圓の由に候が二期の工事完成せば一層顯著の發展を見る可く候

▲今日は鎭南浦泊りの豫定に候ひしも平壤行きの汽車間も無く發車する趣きを聞き急に日程を變じて平壤に向ふ可く停車場前にて車を捨て申候

◎藥劑師試驗

藥劑師試驗は十一日より總督府醫院内に於て擧行の事となれり同日より十四日までは學術試驗にて十七日其の成績を發表し合格者には十八日より二十一日まで四日間實地試驗を施行す可く其の成績は二十四日發表の筈なり、因に今回の受驗申請者は内地人十五名朝鮮人三名計十八名なり

清津

▲清會線工事 清會線鐵道工事九月末の工程は第一工區總體に於て八分七厘なるも土工としては九分橋梁工事七步第三工區總體にして八分六厘にして土工九分橋梁七分五厘隧道八分四厘第四工區總體の一厘五毛第五工區總體二厘九毛なり▲實測 土地調査作業は八月上旬以來咸北各地に分散實測中なる土地調査作業は本年の雨期降雨少なかりし爲め豫期以上の進捗にて本月下旬迄には大抵終了の豫想なるが茂山會寧鏡城各地に入れる調査班は既に全部終了中旬頃引揚ぐべく白頭山附近測量中の松田班も之れ亦二十日頃撤退すべき豫定なり▲大豆 改良の目的を以て大豆種子粒撰は從來北道に於て極力奬勵しつゝあるが今本年度成績を六年度に比するに本年度は農家總戸數五萬六千三百七十二戸中粒撰戸數五萬二千六百十戸其石數一萬四千五百五十二石九斗作付反別十一萬九千二百五十七町にして六年度に比し粒撰戸數五千百戸數一千八百五十五石作付反別三千八百三十五町を增加せるが漸次北道大豆の品質改良するに至るべし▲出稼鮮人歸來 追々結氷期に向ひ浦鹽地方出稼朝鮮人の歸來期に入りたるより浦鹽より便船每に此等出稼鮮人の數を增加せるが本月一日清津入港小倉丸及び三日入港平壤丸上陸鮮人は小倉丸八十七人平壤丸六十六人にて此等鮮人の携帶金は總額二萬二千四百六十五圓にて最高所持者は二千圓平均一人の所持金約百四十圓なり向ほ其道別は咸北百二十八人咸南二十五人平南黄海各一人にて職業別は勞働者農業大部分を占め商業漁業鑛山人夫等少數なり

咸興

▲咸南畜産界の福音 咸興農業技師獸醫學士福井泉登氏外三四名の牛肉商は咸興の生牛調査の爲め十月中旬頃來咸の旨其筋に通牒あり此は即ち敦賀檢疫規則改正せられたるより今後咸興を中心とし北鮮活牛敦賀移入の途を開かんとするもの、如く一方敦賀の富豪大和田莊七氏は亦咸興活牛の敦賀移入を企て活牛四百頭の購入方を咸興某商店に依賴し來たる由にて同商店は極力之れが買出しに奔走せんとしつゝあるが今次の移入にして好成績に終らんか大和田氏は爾後引續き每月一回宛の豫定を以て咸興活牛の敦賀移入を實施する筈にて目下著々諸般の準備を急ぎ居れりと咸南畜産界將來の爲め喜ぶべき現象なり▲咸南大豆檢査實施 咸南に於ては大正三年度より大豆の粒選及び品種混同の防止を以て農事改良の必行事項中に加へ之れが奬勵を怠らざりし結果大豆は一般に著しく其の品質を良好ならしめ從つて内地市場に於ける價格の昂騰に見るに至れり然れども未だ之れを以て充分となす能はざるより更に品質調製等の善惡を鑑別すると共に其の缺點を指摘し當業者に示して粗雜なる大豆の移出を抑制すべく一定の場所を設け愈々本年産大豆より檢査を實施するに決定したりと聞く玆に於て平同時に大豆の包裝用に使用されつゝある繩及び叺の檢査をも行ふに至らば始めて大豆の移出に際し取締りの完きを得たるものといふべく而も均しく當業者の希望して止まざる所なり

平壤

▲農學校開校記念式 平安南道安州郡安州公立農學校にては十月十日開校五週年記念式を擧行すべく尚當日實習生産品評會を開催する由▲長官歸任 元山方面に出張中なりし工藤平南長官は十月九日歸任せり▲畜産組合新設 平安南道に於ける既設畜産組合は一府五郡なりしが今回成川郡孟山郡順川郡の三郡に新に設置せられたり▲書記任命 平安南道鎭南浦公立商工學校敎諭渡邊泰三郎氏は十月五日附を以て同校書記の兼任を命ぜられたり

仁川

▲虎疫と各學校 仁川各學校は虎疫流行の爲め十二日迄臨時休校中なりしが最早や惡疫も終熄に向ひたれば延期等の事も無く同日より授業開始をなす可しと▲御下賜金交付 仁川府にては六月中豪雨の爲め家屋倒壞の被害を受けたる金谷里十一崔喜龍松林里三四趙弘裕の兩名に水害救恤御下賜金の交付をなしたり▲金光教會例會 金光教仁川教會にては十日午後八時より秋季靈祭及び月並祭を擧行する由▲豫防注射液寄附 本町三丁目北島藥店にては八日虎列刺豫防注射液三百人分を警察署に寄附したり

木浦

▲木浦驛概況 九月中の木浦驛乘客は三千五百人降客三千四百八十七人計六千九百六十七人にして貨物は發送九百七十三噸到著五百二十一噸小荷物發送六千五百六斤到著一萬四千七百七十七斤收入は客車四千〇四十四圓貨車二千七百二十三圓倉庫三十四圓計六千八百三十二圓にして前月に比し乘降客二百人收入に於て二百六十圓の何れも減少なりと▲稅關出入貨物 九月中稅關支署の取扱へる當港出入貨物は輸移出二千九百二十噸輸移入四千六百四十一噸運送外國貨物十六噸内國貨物一千二百六十九噸合計八千八百八十三噸にして前月に比し二千五百六十八噸の減少なりと▲生牛移出高 九月中當港より移出せし生牛は五百八十八頭價格一萬三千七百四十五圓にて内釜山牛二百廿一頭に昇れり▲黑山捕鯨許可 黑山島に於ける東洋捕鯨會社の捕鯨事業は今回愈々許可を得同島に鯨地千九十九坪を買收し著々施設中なれば非常の賑盛を來たすべし因に使用船は宮島丸(百十噸)第一太平丸(百十五噸)の二隻なりと

光州

▲棉花初取引 六日和順、麗水、海南、靈岩、羅州、の五郡共同販賣所に於て棉花初取引あり其他郡に於ては七八日より一齊に共同販賣を開始するべく各繰棉工場の買收員は何れも五六日前指定區域の共同販賣所へ向へり▲檢疫應援急行 麗水署管内には虎疫の發生頻繁なるより今回警務部より岩井警部及び巡査二名の應援を爲さしむる事とし同一行は六日出發急行せり▲安原聯隊長入光 目下集中せる光州第二大隊の檢閲を行ふ爲め大邱第八十聯隊長安原啓太郎氏は八日入光すべし▲將校歡迎會 光州官民は九日入光中の安原大佐以下第二大隊の將校一同を北村樓に招待し歡迎宴を催すべく出席者は約六十名に及ぶべし▲曹洞宗布敎所上棟式 目下弓町に新築中なる曹洞宗布敎所は十日を以て上棟式を行ふべしと▲蟻川院長歸任 蟻川小鹿島慈惠醫院長は目下光州にて執務せるが先般工事監督及び視察の爲め出張中六日歸任す

大邱

▲米豆檢査成績 慶北道穀物改良組合の穀物檢査總量は金泉外五箇所にて玄米二萬五百九十七叺大豆八千四百十三叺にて内玄米中優等九十二叺上格一萬五千三百七十二叺下格五千百三十三叺なるが仕出地倭館九千二百叺金泉七千四百九十三叺を最とし仕向地は釜山一萬七百餘叺京城四千七百餘叺等主なり又大豆の内優等は無く上格三千五百七十一叺下格四千四百七十二叺にして仕出地は倭館大邱金泉等順次にて仕向地は釜山尾の道門司等主なり▲金泉若木間鐵道工事竣成 京釜線金泉若木間鐵道改良工事は愈々竣成し從來の金烏山驛を廢し新に龜尾、大新の二驛を設け來る十一月初旬より新線路使用すべしと▲慈惠院本館新築落成 先日來新築中なりし大邱慈惠醫院本館は此程竣成を告げ本月下旬には引移るべく昨今は内部の裝飾中なり

人事消息

▲趙重應氏(子爵) 八日午後水原より歸京
▲佐藤恒彦氏(鮮銀營業課長) 八日午後東京へ
▲野崎三越支店長 九日午後安東へ
▲北里帝國生命保險支配人 八日午後大連へ
▲森安博士一行四名 八日午後歸京
▲齋藤金新氏(平壤場長) 九日午前入京
▲鮎多牛三郎氏(鮎多商會主) 八日夜入京天眞樓へ
▲藤村直吉氏(福岡鐵務官) 九日朝入京旭尾旅館へ

□號外發行 九日正午寺内内閣成立の號外を發行し京城其他最寄の都合に配付したり

實益一途の有隣堂
石田傳吉著(改訂三版) 産業組合の設立と經營 送料共八十八錢
深井喜三郎著(最新刊) 獸醫藥局便覽 送料共廿一錢
工藤齋著(新刊大好評) わかりやすい堆肥製造の話 送料共廿一錢
北島正太郎著(大改訂) 最新實驗蜜蜂の飼ひ方 送料共五十八錢
佐藤元伯述信淵校正 山相秘錄 送料共卅三錢
高橋獎著(新刊好評) 農業園藝害蟲防除要覽 送料共四十三錢
梅原寛重著(高評嘖々) 椎茸養成獨案内 送料共十三錢
小高進著(大好評三版) 果樹剪定の秘訣 送料共卅八錢
守屋貫雅著(改訂三版) 果樹接木の秘訣 送料共廿六錢
江幡辰三郎著 農家經濟の研究 送料共一圓四十五錢

刺繡實物通信教授 有隣堂 各地特約
東京京橋南傳馬町 振替東京六九六番
手本及び繡方分解標本は實物刺繡を用ひ每號講義錄に添附(往復端書申込規則送) 東京市澁谷拾白井錦繡會

期 米 大阪堂島米穀取引所仲買人 今延商店
改宮之築進呈 電話

明治公債株式會社 社員募集
京城黃金町 朝鮮支部
釜山幸町 朝鮮外事部
同所 釜山出張所
太田榮町 太田出張所
群山開町 群山出張所
清津敷島町 清津出張所
平壤本町 平壤出張所
元山仲町 元山出張所
大邱三笠町 大邱出張所
木浦大成洞 木浦派出所
咸興大和町 咸興派出所

小資本にて金儲け現る
新案發錄器機にて活動寫眞の興行が輕便に素人にも出來る他に比類なき金儲機械(三十錢限り壹割引)委細說明書にあり郵券二錢送れ
東京淺草八幡町 振替東京一六六八八 大澤商會

□咲き匂ふ白菊を背にして 新宰相寺内伯爵夫人たき子の方

●淑やかな優しい 瀧子の方
總理大臣寺内伯爵夫人の平生

新宰相寺内伯爵夫人たき子の方は何んな方でいらつしやいませうか。夫人はしばしば朝鮮にも見ねて

□南山の官邸にお住ひ

なさいましたが其の間滅多に外出などはなさらぬやうでありました、夫人は何方かといへばつゝましやかに御引籠勝ちでいらつしやるのは東京の永田町のお邸にても同様であると申しますが御出身が英和女學校であるにも拘らず極めて地味な淑やかな方でございます、先づ一言にして申せば女大學其の儘の貞淑な日本婦人として伯爵の厳格な武人氣質と好個の對照と申されませう お子供には

□兒玉伯に嫁せられた

長女さわ子(三七)さんと黑羽子爵長男眞城氏に嫁がれた須惠子(三七)さん及長男の歩兵中佐壽一(三八)氏と次男の毅雄(三五)さんがありますが毅雄さんは陸軍少尉で只今近衞の隊附となつて居られお宅には壽一氏だけ殘つて居られます、お邸には三人の小間使と一人の執事を相手に寂しい生活でありますがこれから伯爵の活動を助けらるゝ夫人の御骨折も亦格別でございませう、夫人のお生れは遠州の濱松、故貴族院議員長谷川貞雄氏の長女で現に

□將校婦人會の副會頭

となつて居られますがそれもお名前だけで決して表面に立つやうなことをなさいませぬ

□宛らむかしの 武士の家庭

猶ほ峰尾師子夫人曰く『伯爵夫人は洵にお淑やかな優しいお方で、お言葉も静かなく物事がお静かでございます、一口に申せば極めて奥床しいお方で伯爵があの通りの武人氣質で居られましたから先づむかしの武士の家庭を見るやうな御生活であらうと存じます、京城に永らく御滞在になればこちらの御婦人方もいろいろなお教へを受けることが能きましたでせうが京城へはほんの時折御越しになるばかり本年は一度もお見ねになならぬやうでございました、それでも昨秋共進會の砌は閑院宮様のお成りもあり随分御繁忙のやうに存じ上げました、其の時陛下から拜領したものであるからわけても記念として有難いお菓子を戴きましたが私はそれをお寺詣りの老人方にお頒けして一同と共に非常に悦むだことがございました、其の他お邸でお蠶を飼はれましたこともございまして其の糸を以て織物を作り陛下に獻上せられたやうに聞き及びました

□召使にいさゝも 優しい振舞

また南山官邸滞在中の夫人はお邸の召使などにも眼をかけられお越しの度毎に數々のお土産物などがありました、猶ほ伯爵のお土産は何時も一人に拾圓宛のお金を渡されるのがお定りとなつて居ましたが夫人はいつも御自分に反物などを見立てゝ贈られるといふ風でお彼岸にはお團ぶの『お萩』を振舞はれ召使の家族を眼にかけてやられるなどなかなかに周到な御注意と御親切が行き届いて居りました、それに御散歩なども只お獨りで官邸の松山を逍遥される位ゐ伯爵が毎日午前六時と午後六時の兩回決定つたやうに軍隊式の散歩をなさつた後に夫人は只お獨りで歩かれるといふ風で萬事物静かなことがお好みのやうでした、お召物なども極めて質素で決して奢つた風が無く音樂などは官邸にピアノが一臺ありますけれども何方も彈奏されるやうなことはございません、たゞ盆栽と花培りだけは伯爵も夫人もお二人共お嗜きのやうでありました

●嘎々聲して 波止場の賑ひ
新穀が出た=秋晴れに榮増る=米の港仁川の活氣

仁川には時節柄新穀が續々廻著し始めたので一時虎列拉で沈衰した市况は、米の仁川と言ふ氣分に急に緊張して、海陸方面及び

■斗量場の賑ひは

非常な者である、先づ廻著米の輸送及び荷揚状况を見るに仁川驛からは新穀を滿載して牛馬車や大八車が絡繹として居る間を無數の擔軍が籾叺を運搬して居るので海岸通りは桟橋に活氣づき桟橋に繋留されたる

■五六十艘の帆舟

からは米や大豆を揚陸する爲めに數百の人夫が營々役々として居るので税關附近から斗量場に至る間は殆んど戰場の様な光景を呈して秋晴れに榮増る米の港の活氣さに自ら心も躍る様である、斯くして海陸兩方面から輸送された新穀や籾は海岸に面した倉庫裏の巾二十間

■長さ二百間餘も

ある斗量場に山を築かれ、山積された米は内鮮米穀物商の立會の下に彼方此方に桝廻が行はれたり、賣買合議不成立の結果數千の叺が入替となつて數多の仲仕の指揮の下に鮮人人夫の群が時を爭つて改裝に着手したり入替を終ると又再び堆高く積替へられたりする爲め喙々たる

■砂塵の中の喧騷

さ加減は言語に絶する程である。斯る程に之等期米に對し米穀檢査員は渡方の輸移出米檢査の請求に依り現場に於て規定に基く檢査を行ふと共に順次格附の證印を押捺して始めて現物は渡方の手から受方に移り受方は直ちに

■銀行倉庫に收容

するのであるが其間に於ける計量場の喧騷と機敏なる活動は眼眩しい程で仁川港を背景とした計量場は新穀の出盛期に入ると共に日々斯うした活動の巷と化して行くのである

◎三萬九千圓の 請求訴訟

京城長谷川町居住辯護士皆川廣濟氏は加古、内田、菅の三辯護士を訴訟代理人として李堈公殿下を相手取り金額三萬九千二百五十圓の請求訴訟を京城地方法院に提起したり原告の請求要旨に依れば大正四年三月中皆川辯護士は李堈公殿下より十五萬圓の借入方に就き周旋を依頼され同時に十五萬圓の借款成立の曉は其の前利子を引去りたる半額の三分の二を周旋料として交付すべき契約證書を交付され居るを以て直ちに上京して三浦大五郎氏等の組織せる金融部に就き借入方を協議し殆ど其成立を見んとする間際に李堈公殿下より借入方を中止する旨の契約解除書あり爲めに皆川氏は奔走したる旅費、運動費等に五百圓の損害を生じたるを以て前記證書の契約は効力あるものと認定し五百圓を増加したる前記の金額を標定して右の訴訟に及びたる次第なりと是に對し李堈公殿下は大久保、三浦の兩辯護士を訴訟代理人として對抗同法院民事第二部田中裁判長の係り松寺檢事正の立會ひにて六日第一回辯論の開廷ありたり

馬洞高地に休憩せる東軍の歩兵―(八日午後六時)

◎二時間の格闘
巡査も賊も重傷

九日午前一時半頃平壤警察署管内大同郡林原面平壤署より約二里隔りし所を同地駐在所の金玄鎬巡査補が巡廻中朴某と稱する竊盗犯人を發見し直ちに逮捕せんとしたるに激しく抵抗して容易に縛に就かず約二時間に亙り格闘したるが強力の曲者とて有合せたる大石を同巡査補目蒐けて投げつけ足部に重傷を負はせたれば巡査補は拔劍して斬りつけ賊にも重傷を負はせて辛くも取押へたりとの急報に接し平壤署よりは即時司法主任警部警察醫と共に現場に急行したり(平壤電報)

◎防疫應援隊召集

慶尚北道警務部にては防疫應援の爲め管内各地より巡査巡査補四十五名及び憲兵憲兵補助員四十名を召集中なりしが六日全部到著し夫々活動を開始せり(大邱)

御當地開演以來御華客様の多大なる御同情に預り連日滿員の盛况を賜り今九日を以て千秋樂近く歸阪する筈の處不肖市十郎は老體の事こて再度御目見得の機會も得難く尚五日間引續き興行せよとの御贔負様方の熱心なる御勸めに依り十日より五日間日延致し候間陸續御來覽の榮を賜はらん事を伏て奉願候

京城 壽座に於て 市川市十郎

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍券を呈す)

△川柳題「友」

○碁の友が來ると女房うるさがり(一等) 水原城内 馬場松濤

△貧乏になつて眞の友を知り 龍山 南魚子

△金貸して親しき友が不和になり 慶北龜尾 宮崎戸方

△友引の日は墓地も賑敦なし 京城 天香子

△友達も久振りなか愛想よし 京城 南無丘

■課題及び募集規定は欄外にあり

西朝鮮機動演習觀戰記
三好特派員發

▲兩軍相對峙して馬洞高地に野營す
九日午後三時 沙里院にて

八日午後十二時半頃沈村附近に於いて平壤の本隊より増援隊を得て優勢となれる西軍野島支隊の殿然として運動を起せる逆襲に撃退さるゝの餘儀無きに至れる東軍池内支隊は漸く一箇大隊の後衞を以て

■敵の追撃に應酬しつゝ

本隊騎、砲、工、機關銃隊、大行李と共に退却を開始し午後四時頃沙里院を經て馬洞の東北方約一里半の新臺に向ひたるが西軍も増援部隊と共に之れを追撃して同方面に到り、此處に陣地を占領して暫らく相對峙する事となれるが、同夜に至り東軍も新に開城本隊より増援隊の進發したる報を得て夜襲を試みたるが結局同夜は兩軍相對峙して露營する事となれり、東軍が増援隊の到著を待つて更に逆襲を試むるは

■九日拂曉よりなるべく

同日は馬洞沙里院間の大平野に於いて東西兩軍主力の大衝突あるべき事は之れを想像するを得べし、余は九日拂曉の戰鬪を觀るべく、唯今より夜を徹して黃海道平野に馬を驅つて兩軍の對陣せる新臺方面に向はんとす(八日午後十一時沙里院旅舍にて)

▼隔世の感あり
老幼婦女群り來る

八日午前沈村附近に行はれた戰鬪演習には宛かも日曜日に當る事とて沙里院黃州その他附近の鐵道沿線から態々見物に出掛けて來る學校生徒、地方官吏その他の見物も頗る多く演習地に隣した洲南面、龍里では假小舍數箇所を設けて湯呑所休憩所等に充て又沙里院からは特に郡守以下の郡職員、在郷軍人、有志等が出掛けて附近の鮮民と協力して歡迎に力め憲兵分隊からは分隊長以下憲兵十數名出張して演習地帯を取締るなど頗る行き届いてゐた更に演習地は勿論軍隊通過地の民家では悉く國旗を揭げて歡迎し、その通過に際しては里民が堵列して、之れを迎送するなど到る所軍隊に對して好感を抱いて居る如きは大に慶すべき事だと思つた、然も近來官憲の周知その宜きにも因るのだらうが、老幼婦女にして軍隊を見て逃避する者の如きは無く却つて進んでその威風堂々たる行軍の光景を見んと街路に群めき合ふなど昔日に比すると全く隔世の感があるさうである

▲朝鮮は是れ絶好演習地
此の軍隊に親しみ來る民心の變化を觀よ
颯風に馬首を起て、將軍語つて曰く

八日午前、沈村西北方に於ける東西兩軍の衝突戰が濟んで、休養が與へられ各隊の將卒が、山と言はず、畑と言はず附近一帯の地に拂曉以來の戰鬪に疲れた身を投げてゐる時であつた、統監部とは稍離れた高地の中腹に立て休養中の士卒を觀て居られた

▽立花師團長は記者を顧みながら昨日以來の演習に就いて語つて曰く自分は朝鮮に於ての秋季演習殊に演習地の地形、氣候、土俗等について可なり趣味を有つてゐる、先づ地形から言へばだ、不毛磽确とも言ふかね、朝鮮の地質は非常に燒けてゐる、之れが軍隊の行動に取つて甚だ好都合である唯道路が惡いのは致し方がないが、それから内地などに比べると耕作地が餘程少ないそれで

▽内地の演習地 々方に厩々假をするといふ様な事も殆んど無い觀る如く作物を荒して軍隊が損害賠償をするといふ様な事も殆んど無い氣候は寒暑氣ともに吾々の身體に適して居る時であつて演習には誂らへ向きである、然しながら朝鮮の演習に於いて不便な事は何れの村落にも内地人家屋が尠なく、朝鮮人家屋に至つては悉く狹いのみならず不潔であるために

▽宿營が出來ない事だ、更に亦困るのは露營地に於いて良水を得るに難く、同時に薪炭、藁等の不足な爲に防寒設備が内地に於けるそれの如く十分に出來ぬ事である、殊に昨今流行病があるところから村落に露營は全然避けて松林の如き風の當らぬ所に天幕を張つて露營し飲料水の如きは一々

▽軍醫の檢査して無害なりと認めたものに限つて用ひてゐるのだ、それから演習地附近の土民だが昔朝鮮の兵が來ればその附近一帯の地に於いて良からぬ事を働いた爲めに軍隊とさへ言へば彼等は恐れを抱いて先づ婦女子の如きを遠く隱して然るのちに牛、豚、雞の如きものを持參して軍隊の驩心を買ふに努めたものだが、近年になつて日本軍隊の

▽眞相が解つたと見ねて婦女子も一定の所へ逼いて自分達も見給へあの通り多數の人間が演習を觀に來る様になつた――と演習見物の朝鮮人の集團が白く彩つてゐる四方の山を指しながら――之れは日本の軍隊が掠奪をしたり婦女に戲むれたりするものでないといふ事が彼等に徹底して來たよい證左では無いか、昔からの習慣で種々のものを持つてくるが軍隊一切之れを受けない事にしてゐる

▽必要品の藁とか薪とかいふものは相當の代價を拂つて買ふ様にしてゐる、要するに概していへば演習地としては朝鮮はいゝ所である――と語り了はつた時高地の上に兩軍の將校以上が圓形を畫いて集合、市川統裁官の講評を聞くべく待つてゐたので、師團長もその方に往かれた、折柄今にも雨を落して來さうな空けはひ、怒濤の押寄せるやうな音をたて山から山を渡つて吹きつける風の中に二時間近い

▽兩將軍の講評が始まつた山の四方からは長い劍を吊つた人達ばかりの集まりを見物の内鮮人が不思議さうに眺めてゐた(九日午前一時)

●北鮮機動演習

北鮮聯隊秋季機動演習に參加の咸興步兵七十四聯隊聯隊長以下將卒[illegible]

羅南に集中しつゝある北鮮部隊の鏡城三千名は羅南に於て南北兩部隊の編成を了し北鮮部隊千五百名は四日[illegible]

●龍山に續出す

龍山憲兵分隊管内麻浦尹鐵瑍(三二)[illegible]
[illegible]助右衛門、鹽田はつね以上三名は檢便の結果陽性と確定せり

[illegible]八日朝釜山[illegible]

八日夕釜山入港對馬丸二等客 藤田傳三、黒川淸七、竹下郁雄、大谷爾七、久保田長兵衛、李炳基、飯田長兵衛、倉和光吉 三等(百四十四名)[illegible]

讀者文藝課題及募集規程

■課題 △物は付「不快い物は」 締切九日[illegible]

■募集規程 ▲用紙は端書又は同樣の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲贈賞は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更よ[illegible]

天氣

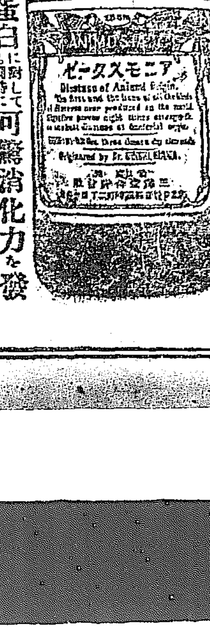
くもり

曇り一時晴れ ▲十月十日[illegible]

[illegible]

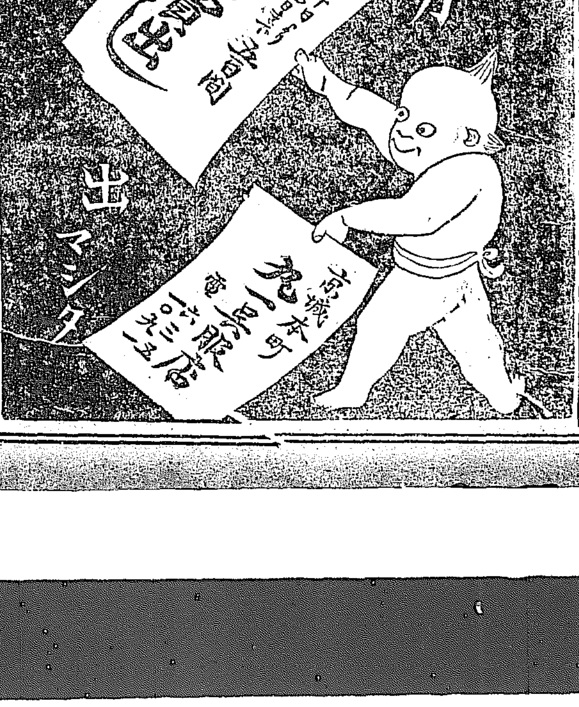
胃腸新藥 アニモスターゼ 澱粉・蛋白消化劑

平田ドクトル六年間苦心の結晶的産物 最も強力なる胃腸新藥澱粉蛋白消化劑 [illegible]に比し八倍の效力 [illegible] 一分間に [illegible]



本劑は蛋白に對して可驚消化力を發揮するの特長を有す

發賣元 東京市日本橋區 三洋堂合資會社



眼科專門 京城明治町東拓横(電話二〇四四番) 江頭眼科醫院 日曜祭日午後二時迄

秋の帽子 殊に新裝を凝したる 日ノ出向鳥印帽子 種類ハ最も豐富なり

到る處の有名なる帽子雜貨店にて商標御注意の上御買上の程を希ふ

發賣元 東京 吉安商店

類似商標に御注意願上候

…南に起きたる元山大隊は四日…清丸にて清津上陸羅南に向へり九月中旬頃より咸南或は國境第一線よりれつゝあり日より輸城平野に於て大會戰を行はれつゝあり(清津)

…死體檢案の結果疑似と判明せり又龍山漢江通十六番地宮川駿雄、中手口…[illegible]

一生を朝鮮教育界のために 捧んとせし故秋山視學官の事ども＝小田編輯課長談

自分は今朝歸任したのだが途中秋山視學官の危篤を聞いたので水原に立寄る考へであつたに既に白玉樓中の人となつて幽明境を異にして仕舞つたのは

▲殘念に堪へぬ 氏は長野縣北佐久郡岩村田町の人で慥か明治三十五年の東京高師出だと思ふ氏は最初京都の高等師範に教鞭を執り其れから韮山中學に轉じまた福島中學の教諭となつたが資性快活敏達な上研究心に富み其の得意とする理化學には種々の著書もある、舊韓國政府に招聘せられたのは明治四十二年の事で當時學部では

逝ける秋山視察官

▲理科書編纂の 必要を感じた爲め氏を聘して其の任に膺らしめた譯であるが、氏を推薦したのは實は自分であつたのである、其れから併合後は京城高等普通學校の教諭に任せられ次いで京城中學校教諭に轉じたのであつたが其の間群を拔いた氏の教育的卓見は遂に當局の認むる處となつて大正三年擢むでられて視學官となり太田氏の跡を襲うて今日に至つた次第である、氏の撓まぬ心と

▲屈せぬ努力とは歎く可き甞て數年前には賜暇を利用し自費を擲つて關東州の學事を視察した、腸窒扶斯に罹つて一時重患に陷つたのは其の歸途大雨に遭つたのが原因であつたが平素壯健な體驅とて間も無く快癒した、又た本年夏期の講習會でも氏は視學官として隨分多忙な身であるに拘らず進むで教授法を擔任し月餘の長期間を

▲一日も缺席せず 授講した、家には相當の資產があるのであるが氏は之を弟君に讓つて後顧の憂を絶ち一生を朝鮮教育の改善に捧げる決心で以て渡鮮したなど特筆す可き行爲であると思ふ、朝鮮の教育事業は今や其の組織は略々整頓し是れから內容の改善に著手せんとする大事な時期であつて

▲視學官の努力を要する處 又た氏も多年の抱負を實現す可く自ら大に期待して居たのであつたが天氏に藉すに壽を以てせず四十四といふ働き盛りを一期として到頭不歸の客となつて仕舞つたのは氏自身は素より朝鮮教育界の爲め誠に悼惜の至りに堪へぬ次第である

感冒は皮膚から

●氣候の變り目に注意●

氣候が激變した昨今は感冒患者の多い事驚くばかりである原因は夏及び初秋の暑氣の爲め著しく皮膚の抵抗力が弱められて居るのに在る

▲今年は 一層烈しく寒氣を感ずる而して最初は鼻、咽喉、氣管及び氣管支に加答兒症を起し其が嵩じると肺炎肋膜炎となる昨今殊に肋膜炎の患者が多い又從來肺結核や脚氣を患つて居る人達の病勢が增惡するのは矢張り氣候の激變に伴ふ現象である豫防法として心得てゐねばならないことは從來冷水浴或は冷水摩擦を行つてゐるものは此際中止するやうの事はせず相變らず

▲皮膚の 健全をはかること次に冷水浴並に摩擦を行つたら再び寢具に入つて身を暖めれば宜しい雨の日は濕氣が多い故乾燥した襯衣や著物を選び散步などの際は外套輕い防寒具を著けて出るやうにするがよい家庭に於ては秋は雨天でも開放して外の空氣を入れるに限る寒いからとて室を閉め切り火鉢などに親しんで居ると外出すれば必ず感冒に罹る虞がある

電話の故障 は何して起るか

京城市內電話の線條及び各加入者の電話機械の檢査旁々電話局では昨年より巡回吏員を二人に增加し毎日巡行訪問せしめ

▲使用者の便利を圖ることに努めて居る、試に九月中の巡回成績を擧げて見ると機械の檢査個數九百七十七中異狀なかりしもの八百七十七個故障ありしもの百四個にて約十個に付故障あるもの一個の割合である、而して其故障の種類及び數量を示せば左の如し

▲受話器不良二八▲電鈴調度不良二〇▲コード不良一三▲機械ターミナル取付不良一〇▲轉換器不良一〇▲送話器不良八▲イヤーピース不良五▲開閉器工合不良四▲保安器不良三▲マツチ取付不良三▲マウスピース不良二▲雜音一▲陪止捻子なし一▲線條破損一

電話の機械も線條も種々の原因のため自然知らざる間に此の如く不良となり、傷みも生じ、破損も起り、工合の惡るくなるのは

▲人間の身體 と同じ樣で常に其保健の爲め矢張り診察、療治、投藥が必要であるから加入者側に於ても電話の不良の原因は人間の取扱許りでなく機械の不工合に由るものが先づ常に主となつて居ることを承知して貰ひたい、之に由て觀と電話の如き仕事も之を取扱ふ人間に狂を生ずるのは矢張無理ならぬ譯で現に機械の如き無心無覺の木や鐵の如き物でも猶自然の病氣に犯さるゝとせば人間を機械として使用する場合に時にふれて之に狂ひを生ずることもあるは免かれざることである、之を無心無覺の木鐵の如く見做して過する人あらば餘り無情の遣方ではあるまいかと思はれる、勿論交換手などに對しては其技倆練磨の外其心的病氣を療治匡救することにも力めて居るが人間を機械として取扱ふ仕事であるから何うも甘まく往かない譯である(京城郵便局長談)

水源地の警戒

高陽郡纛島に虎疫患者發生したるが同地は京城水道水源地の所在地とて隈部警務部長小山田京城分隊長は六日同地に出張實地に就き警戒防疫に努め臨時に水源地より一千尺の鐵管を敷設して纛島農家約四百戸に上水を無料給水し且つ纛島警察醫を同地に駐在せしめ一方東幕にても同樣警察醫一名を派し毎日檢病的戸口調査、健康診斷等に從事せしめ居れりと

―△會のいろ〳〵▽―

▲東京第一中學校同窓會 京城在住の東京府立第一中學校出身者は吾孫子高等學校長、西洋女子高等普通學校教諭を始め一同八日午後江戸川に會し第一回同窓會を催せり猶ほ次回は十二月上旬開催川島者は京城中學校長吾孫子勝氏迄申込ありたしと

▲鍾路小學校第二回豫防注射 同校に於ては十日午前十時頃より第二回コレラ豫防注射をなす由

▲大田の記念運動會 大田尋常高等小學校は八日午前九時より創立十週年記念式を擧行し校舍運動場にて開き式後直に運動會に移り三十餘番の運動を行ひ午後五時無事閉會せり

▲佐川氏の追悼會 曩に逝去したる佐川捨次郎氏の追悼會を八日午後三時より妙心寺別院に於て執行したるが遺族佐川小春子は追善供養の爲お香典の內より金十圓を大典記念神宮建立に寄附したり

●神前の結婚式 京城醫專學校卒業生仁川稗田良之助氏は小杉謹八氏夫妻の媒介にて仁川海岸町田中金兵衛氏令嬢京城高等女學校卒業生田中光子と此程南山京城神社に於て結婚式を擧げたりと

神社とお寺と教會

○開教院(本町三) 十日午後一時より鮮人の集會あり
○曹洞宗別院(若草町) 九日午後二時より大般若經の法要及び忽滑谷師の法話ありたり猶十日午後七時半より同師の法話あり
○壽町天理教 九日午後八時より青年會を執行

商況

公債直取引(東京特電)

七日出値段(前日との比較)
五分特別 九八、一〇
五分利 ―
二回四分 ―
同四分 ―
甲五分 ―

深川在米特電

七日現在高 朝鮮米 一八、〇三二 選內地米 九三三五 (以下[illegible])

大阪期米特電

九日前場 當限寄付 一四、七四 中限寄付 一四、八六 先限寄付 一五、一〇

下關期米特電

九日前場 當限 寄付 高値 安値 止め (數字[illegible])

雜報

●內地製粉上進 既に不需要期に屬するとはいへ久しく見送りたる結果實需の稍見るべきものあると同時に原料小麥は米價の成行如何等は殆んど關係なく更に昂騰を重ね一時の高値をも突破し茲九升五合見當まで邁進したるより市場の人氣は益々硬化して茲當限の二圓五十五錢を稱するに至りたれば會社側にても更に五錢高の二圓五十五錢と第三回に亘る値上げを續行せるが關內筋にては二圓六十錢の高値に在る盛況故或は今一段の高値を保し難く大勢侮り難き商情なりと

●亞鉛線高氣配 八日入大阪より當地某店に達せる亞鉛線入電相場は十六番より二十二番迄各二圓乃至…十五番迄五十錢高を報じ居れり原因は輸入遲延に對する現品ガスレを此間の豫想せる結果なりしといへり當地は今日の處比高値に附隨し居らざるも眼先趨分の騰貴は免かれざるもの〻如し

●鹽鯖は氣丈 鹽鯖は弗々入荷あり昨今の取引は四圓一二十錢處にて前報後格別變らざるも鯖同に於ては今回鹽魚類の輸出を禁じ軍需品に充つるとの事にて最近內地の相場は之が爲三十錢高を報ずるに至りが合の模樣となれり新期口は不引てに他に鹽魚類の少なき折柄とて弗々荷捌けあるも何分當年當時と一圓餘の高値を保ち居れる丈今一息の商狀なり

●平板更に昂騰 平板は屢報の如く阪神市場に於ける現品の拂底を年內輸入の見込み無きに內地製品は先約物多き爲種々の雜料に剩餘せられ茲許手持筋も漸次強硬となり今日にては愈々二圓五錢を唱ふるに至り賣れ行せんとなれり

●紡績糸昂進 當地の紡糸價格は其後更に大阪高を傳へ此處角王十六手七十八圓十手七十一圓五十錢を唱ふるに至り前報後十六手一圓十手五十錢高を告げたり

●染粉次第高 染粉は現在の需要旺盛の結果、物價騰貴の折柄造染方は今後の需要を見越し賣行き捗々しからず寧ろ元高を唱へつゝあり而して今日の各部は殆んど三十五圓を唱へ居れり…

●鹽大刀魚入荷 江原道產鹽大刀約三千個の入荷あり魚體小形にして品質は良好ならざるのなき爲め需要人可成りに買進み直ちに出拂ひたるが値段は三百尾入三圓四五十錢處なりし

●生果類再び軟調 生果類は相場の回復に連れ入荷増加して上品の賣り物稀薄にして買人の各種米所とも一等原料の必需に迫まり一般買び望み人多ふく…

下關相場

約二割安

▲朝鮮白米は強保合 依然買進む相人現はれずして市況活氣を呈するに至らずと雖も何分產地高不引合な折柄に各米主の賣り腰強きに依り人氣惡しからず之れが弗々の出來値は左の通りにて共後の輸入は二百叺のみ

▲大豆はヂリ〳〵安 本品は別段賣り急ぎ物現はれずと雖も昨今引續き相當に出廻りあると大體の人氣先安見越しの折柄とて自然買入の高値は望まざるに依りヂリ〳〵安の商情を呈し居れり而して之れが弗々の出來値は左の通りにて共後の輸入は

▲小豆は手堅し 本品は依然小口物の賣れ行きに過ぎずして別段氣勢外らずと雖も何分產地高を楯に各手持筋の氣張り居る爲め相變らず市況手堅し

△朝鮮一等白米	十五圓三十錢
△同(當用)	十五圓四十錢
△同二等白米(當用)	十五圓十錢
△同上品(當用)	十四圓五十錢
△伊院新大豆	十四圓四十錢
△倭館新大豆	十四圓
△同	十一圓十錢
△沃川新大豆	十四圓四十錢

各地商況

○木浦(七日の穀物) 新古米市場共前報依然何等變りなく閑散鈍狀を呈せり

△正米(變らず) 古糙玄米の取引は一二十錢方下押して値にて出來せるも其他古米相場は依然變らず唱へ面を維持せるも其は僅に各筋氣乘り皆無にて取引商談も現はれざる爲め表面動かず保合を示せるものなるも漸く古米市場は商況見切居れる爲め人氣乘しく一般に弱含み保合なり新米市場は依然景氣への大阪移出行はるゝも地場商內は殆んど皆無の姿にして從つて唱へ地相場も何ほ未だ建たざる模樣なり

京城正米

古米の拂底と反比例に新米は弗々增加しつゝあるが京畿沿線は引續き高氣配なり當地は鮮白の不味に伴ふ群人市場の安氣配と俟つて一段不勢の傾きなり

京城雜穀

新穀出盛の折柄とて未だ株立ちる商內行はれず氣配は概て安持へ持合ひの裡に經過しつゝあり

南大門の廻穀

八日分 平澤玄米	五四叺	鳥山白米	七四叺
鳥山玄米	三七叺	鳥山白米	五九叺
鳥致院白	一八叺	南洞大麥	二一四叺
仁川玄米	二四叺	水原小豆	四四叺
仁川白米	二七叺	水原大豆	三九叺
鳥山白米	二七叺	水原白米	八七叺
鳥山白米	五三叺	水原糯	二八叺
仁川糯	四七叺	平澤裸麥	一五叺

仁川現物市場

九日分 仁川玄米	二五一叺	平澤白米	一四〇叺
仁川玄米	二五四叺	中和裸麥	三〇叺
平澤粗	一八〇叺	天安白米	二七叺
平澤糯	三〇叺	沙里院玄	一四〇叺
平澤玄米	三九叺	平澤玄米	六九叺
平澤玄米	二一三叺	平澤玄米	一〇六叺
平澤玄米	三一三叺	平澤玄米	四〇叺
沃川花子	八叺	金泉裸麥	五九叺
仁川玄米	二四〇叺	太田玄米	六八叺
沙里院豆	二〇叺	水原白米	二一叺
鳥致院粗	二八叺		

△籾入津百五六十俵
江華新籾六回出來忠清道五四五、一六…
△正米入津なし
△大豆入津七、八十叺 氣配保合を唱へ居れり
△小豆入津百二、三十叺

釜山穀物

固著品は日々相應にありされども多ふくは弱品のみに

田中商店 (廣告) 一黎朝賣買の彈算信略儀御一報次第即座御引申候 電話二一六八番・二一五二番

仁川期米

九日前場 寄付 五圓〇六錢 …

合計	二千五十個	
玄米	八百七十八個	
中白	二十一個	
新圓米	一千百四十九個	
大豆		

▲大豆 買人は弗々あれども相場は保合の商狀なり

▲九日前場 大阪天候曇天前寄十五圓十錢丁度と一昨止同事の入電二節〇三錢三節十四圓九十九錢と安移りにて當地當用來不申二回十二錢より直に五十錢に下押し九錢と返して六錢引先十

市場の大商內

▲續て安移 …大阪四節九十六錢五節九十五錢と…八節十五圓〇五錢と引返を示して…

▲十日前場前場 當限出來不申 中限⊖十二圓六十二錢⊜五十七錢… 平均值段 …

市場零聞

▲前場不勢 天候曇り大阪前寄變らざるも時節柄⋯にて十二圓〇五錢と寄付たるが大阪物多く直に九十六錢…

▲又復賣氣旺盛 …

▲前場の手振 重なる商內賣方④一萬三千餘石…

▲大に賣る 今前場同店よりたる玉數無慮一萬三千餘石の賣あり…

▲能く買ふ 前場同店より買たる玉數七千餘石に上りたるもの…

▲能く買ふ 前場同店より買たる玉數七千餘石に上りたりとの事一面四千餘石の賣ありたるも市場の注目を惹いたり

▲ぬの大商內 前場同店より賣りたる玉數八千餘石に上りたりとの事一面六千餘石の買ありたるも

▲巨の大商內 前場同店より賣りたる玉數六千餘石に上りたりとの事一面二千餘石の買物ありたるも市場の注目を惹いたり

▲墨能く買ふ 前場同店より買たる玉數四千餘石に上りたりとの事にて市場の注目を惹いたり

▲人氣動搖す 一時賣優勢となりしも大阪市況… 一部の投げを招致し…

▲外の下鞘此處三百丁內 …

▲中限解商內 …

▲目先期米觀 仁川市場は…

▲場面は爲に硬化 …一時的現象…

仁川米豆取引所

九日の十二月限

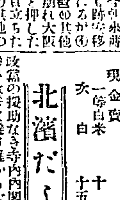
前場	寄付	十二圓九十五錢	
	高値	十二圓九十八錢	
	安値	十二圓九十錢	
	止め	十二圓九十三錢	
	出來高	三萬九千三百石	
平均值段		十二圓九十六錢	

賣買取組高 十月限 六千四百五十石 十一月限 八萬七千三百石 十二月限 三萬千五百石

小賣白米 七日後場 …前日と比較 一七安

北濱だより 現金買 一等白米 十六錢 次白 十五錢五厘

▲大阪の强硬 …



吉田學明 京城本町三丁目
書人事百般鑑定需應ず
鑑定料觀相五十錢當用易斷當圓
鑑定時間 自午前九時 至午後十時
大日本陰陽學會朝鮮支部

藍玉
本場精選の地藍移入仕候に付一坪分以上御入用の御方には特別破額を以て販賣仕候
▲代價の義は御照會次第直に御報可申上候
釜山本町四丁目 電話七八一番 小津商店

くすりは山岸
諸官衙御用達 洋藥賣藥卸問屋 醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話 …

平壤南門町一丁目(花咲銃砲店事)
銃砲火藥 度量衡販賣 平壤銃砲店 電話一四三番 電略(ヘ)又は(ヘイ)
花咲銃砲店事今般平壤銃砲店と改稱し規模を擴張し主として鑛山用、土工用、爆藥及火藥類を在品豐富に貯藏し需要家各位の御便宜と完全なる供給を期し可申候
狩獵用品は獵銃、空氣銃、獵用火藥、雷管、散彈、獵具品一切を取り揃へ廉價を以て販賣可仕候
追て弊店扱の商品は度量衡を除く外何品に限らず左記弊店關係の銃砲店に於て需要家の御便宜により現品御渡し可申上候
銃砲火藥御商 仁川仲町一丁目 共榮社 主任 西村傘藏 電話七五番 電略(キ)又は(キヨ)
釜山南濱町 西村銃砲店 電話三二七 振替京城二四九六番
群山全州通 西村銃砲店 電話四二八番 振替京城一〇四八番

◎大聲蓄音器大景品附大割引責任販賣
本機は機臺の直徑壹尺五分高さ五寸五分喇叭口徑壹尺四寸の七枚辨ニッケル構造キング式原動機にて音律正確發聲顯る大也今回五百臺限り左記大景品進呈す望の方は「ハガキ」にて申込次第荷爲替附にて送る萬一不向の節は責任を以て無料引他品交換又は返金す
壹臺金八圓五拾錢 運賃及荷造箱代共金一円五十錢
景品 赤垣源藏…
▲音譜樂盤特製品參百回使用保險附兩面六拾五錢(定價表無代進呈)
◎近頃頑具的蓄音機を誇大に廣告し註文者へ迷惑を與ふる不德商店有注意あれ
特約店募集 大阪市東區上本町五丁目停留所南入 電話南一三三八 振替大阪二五〇八二 發賣元 大阪蓄音器商會
特約店御希望の方は郵券四錢封入申込あれば詳細規定書送呈す

尺八樂譜解說 一部壹圓 郵稅二錢
尺八樂譜 目錄希望者は要郵稅二錢
東京小石川區大和町 尺八教授 水野呂盧

朝鮮成歡特產
しぶかわ知らず 甘味無双 平壤栗
種子 苗木 農具 朝鮮京城 京城勸農園 電話七〇四番 振替京城五六番

大阪唐物町四丁目 大阪田商店 M EP 品質本位 (廣告)

瀨戸齒科醫院
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀨戸潔
(電話二四九八番)
診察夜九時まで

從六位秋山鐵太郎儀病氣の處十月八日死去仕候間此段謹告候也

追て葬儀は來る十二日午後四時半途中葬列を廢し本町開教院に於て執行可仕候

大正五年十月九日

男 秋山一郎
親族總代 秋山源次郎
同 秋山清兵衛
友人總代 宇佐美勝夫
同 弓削幸太郎
同 小田省吾

葬儀請負 供花御寄贈品一式
京城本町二丁目(壽館橫) 朝鮮葬儀社 電話五六二番

神佛葬儀請負 供花御寄贈品一切
京城大和町壹丁目五一 大和葬儀社 電話二四三八番

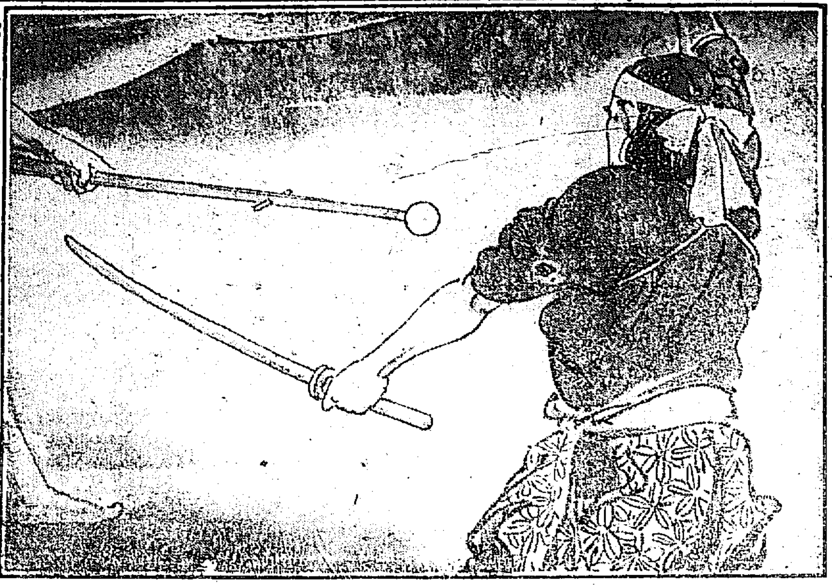
豫報 (京城測候所) 十日正午 …

宮本武藏

第百八十二回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

高田又兵衛は豊前小倉小笠原右近將監の家臣で五百石を領して高田流の槍術指南をいたして居ります、寶藏院覺禪坊の門弟にして高田派と云ふ一派を編出した人、宮本武藏は同じく小笠原家の藩にして二刀流を編出した人だ、されば同藩である、處が前回にも申し上げました通り巖流島で敵岸柳を討取り、猶天草の一揆に從軍して功を顯はし、細川越中守へ小笠原家より貰はれて當時細川家

拙者の考へには宮本が勝だらうと思ふ、岸柳といふ豪傑を討取て天草の戰場に出た人だから殊に高田が豪くとも宮本には叶ふまい」〈「イヤ然うでない、宮本も豪いが又高田又兵衛は寶藏院の獨立で一流を工夫した人だ、二間柄の槍を取つて八間の堀を飛越したといふ事だから實に當代の名人、殊に刀より槍の方が工合が宜い故又兵衛が勝だらうと思ふ」〇「それならば貴公は高田、拙者は



に仕へて居る、實家は三千石を領して舍弟左織が家督相續いたして居ります、然らば宮本も高田に對しては些か遠慮はあるが、併し藝術上のことであるから互ひに遠慮はいたしません、名人同士の立會なれば此の試合如何あらんと諸侯も片唾を嚥で見て居ります、高田宮本は暫くの間睨み合て居りましたが、宮本も流石打込む譯にも叶ず、又高田又兵衛も宮本の體に兎の毛で突いたほどの隙も無いから突かゝる譯には叶かない、エイヤッと双方氣合をかけて居るばかり、稍半時ばかりと云ふものは双方ともつけたぎり、嘉の外に拜見をして居りました御目見得以下の者〇「何うです同役、何方が勝ませう」〈「左樣サ、何れ強い方が勝て弱い方が負けませう」〇「それは當然だ

宮本、何うでござる多分ではござらん、百疋此處へ賭けませう」〈「成程賭けをするかナ、宜からう、其では手前が百疋出ませう、勝た者が取ので」〇「左樣」と怪しからん奴があつた者で内々賭などをして居る者がある

暫く經つたが高田宮本の勝敗はつきません、內に又兵衛は槍を投出して後へ飛退り又「參つた、恐入りました、拙者氣合に負けました」武「イヤ然うでござらん、其許の體に些かの隙も無く打込むことは叶いません」

又「例へ打込むことがならずとも、此許に氣合をかけられる度毎に拙者の身體にこたへる、此の立合が永くなれば氣合に打れて果は相果ますする、實に宮本先生の御技倆には驚き入りました、又兵衛遠く及ぶ處でござらん」武「イヤ却々左樣なことはござらん」と申して居る處へ行司役の柳生但馬守「但し成程是は腕前は互角であるが相氣によつて宮本が勝となる、然しそれを自ら知つて後へ退いたは高田の豪い處、先づ此の勝敗は互角なれど相氣の負相氣の勝と云つて宜しからう」と左右に引分けましたが是を見て家光公始め諸侯の面々成程高田も豪いが、宮本武藏といふ人物は又格別、大したものだと賞賛す、是を聞いて細川越中守は鼻を高くして居ると、其の傍に居た小笠原右近將監右「何うだ是程どの宮本を細川家に遣はしたのであるから此方は豪からう」と口へ出しては云はぬがニコ〜笑つて居りました、偖第四番の試合由田眞龍軒に井伊直人の勝敗、それより數十番の試合があつて家光公は御機嫌斜ならず、して御退出になる、諸侯方も皆々歸邸をいたす、武藝者は酒肴を給はつた上御暇となり細川越中守は屋敷に歸つて其の夜宮本武藏を御前へ召され御盃を下され殿『武藏今日は上出來であつたな』諸侯の手前予も面目を施して喜ばしく存ずる、今に始めぬ其方の腕前末頼母しく思ふぞ」武「有難き仕合にござります」殿『猶家中の若者輩へ數授をいたしくれる樣』とお賞めのお言葉のみならず種々拜領物をいたゞきて小屋へ引取りました

皮膚科　皮膚病　黴毒病　痳病　膀胱病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元曙町）佐藤醫院（電話一一七三番）

外科一般　皮膚科　泌尿器科　花柳病科　院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光敎會隣　安部醫院　電話四一九番

◎◎御注意◎◎ 近來當店の商標を模倣し商號を詐稱し頗る粗惡の萬年筆を販賣する奸商有之候間何卒御注意相成度當店の品には總て軸部にＰＩＮＥ（パイン）と英字にて彫刻有之候
京城旭町二ノ六　パイン萬年筆出張所

十月十一日　九紫　舊九月十五日　辛巳　木命　七赤　西　危　大安

▲七赤● 慾の爲に惡を寄せ見る事有る日注意新事見合南方は吉 結婚可▲八白● 勢ひよき日轉居旅行入門名弘求職金談普請婚姻移轉海外取引築等吉▲九紫● 乘ぜられ迷惑の事有る日新事手控へ事愼しみ妨なし▲一白● 人氣集り物盛大に賑く日萬事進で利有女子は一層よき事有り 待人來る▲二黑● 大厭有る日轉居入學金談名弘求職建築婚姻出入業等皆吉▲三碧● 難題なる 頼まれ事有る日新事手控へ萬事は吉 一切のせわ事を禁ず▲四綠● 隙を覗にくる事有る日新事手控事は吉 女難小盜用心の事▲五黄● 斷よき日轉居旅行 入門名弘探職 求職移轉普請 皆吉▲六白● 宅廻りよき日轉居 行 商入學名弘金談 求 職婚 學校設立の事に吉 萬吉

演藝案內

有樂館 本町一丁目 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約 十月七日より特別大興行 △實寫 エクレール週報 △喜劇 樂しき新婚旅行 ○新派劇 切られ與三郎 全三卷 ▲『ジエンショーア』全五卷 長七五〇〇呎 英國バーナー會社最近の大傑作 …

黄金館 電話二八五二（階上）二六三七（階下） 天然色活動寫眞株式會社 朝鮮一手代理店 九月二十七日より特別大興行 …

壽座 京城壽町 電話五七八番 九日日曜より 前中切 鈴木主水 白糸ばなし 本造下屋敷 竹に雀の段 …

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 …

御成座 一成町 電話一一九一 朝鮮新派劇元祖 革新團林聖九 一行毎日開演

衛生必携品 ルーデサック 一ダース 十個 六十錢 … 京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥房 電話二七七番

小資本を以て急速に成功し得可き特約店 一村一名限り … 東京日本橋 … 株式會社

呼吸器病・ぜんそく・タン・セキを治す
呼吸器散　呼吸器丸
呼吸器病に苦む人よ 本劑を一週間程試よ タンを去りセキを鎭め胸苦きを和げ夜分安眠の効を奏する高貴藥也
かゝる時偉効あり ◎せき出て眠られぬ人 ◎たんに血の交る人 ◎聲潤れ出でざる人 ◎のんど腫れ痛む人 ◎息苦く胸痛む人 ◎タンセキ切れ難き人
價十錢、十五錢、三十錢 全國到る處に販賣す
本舖 丹平商會

強胃消化錠マーゲン　懸賞當選
マーゲン廣告部

妙藥 らい病 手二錢切手送れ 敎ゆ 大阪府西清水町四九 山田光治郎

東京 小松 ぢの藥 痔疾一切重症の脫肛・痔瘻・現狀の儘治する家傳妙藥有「ハガキ」にて申込ば病理由自宅治療法の詳細說明書冊無代進呈す 本家 東京京橋疊町一 小松懸林堂 全國各藥店有 小松痔の藥指命乞ふ

月やく 下る藥 切手二錢送れ敎ゆ 大阪清水町心齋橋筋西 山田樂天堂

美顔水（びがんすゐ）

宮內省御買上品

各宮家御用
美容術大家　マリールウヰズ孃

一般御婦人の爲に語らる

▲容貌を美しくする原因に就て（其の二）水質に注意せよ▼

鴨河の水がよいので京都に美人が多いといふ事を聞いて居りますが、成程水質と美人とは密接な關係があるのです。といふのは石灰分を含む硬水、一口にいふ惡い水を使ひますと、皮膚は荒れ色はじゞ黒くなり、肌理は荒くなるからであります。井戸水は何うしても多少共石灰分を含みますから皮膚には餘りよくありません。先づ安全なのは水道の水ですが、併し尚幾分かの石灰分が無いといふ譯には行きません。」

水質を良くする法と豫防法

井戸水でも水道の水でも、沸騰すと石灰分は大方無くなります。從つて顔を洗ふのには餘り熱くない湯を使ふのが一番安全ではありますが、尚一層完全に水の害を防ぐのには化粧用美顔水が理想的であります。佛蘭西ではデクージャント（洗面後用化粧水）と稱する化粧水が此目的で一般に持囃されてゐますが、其成分は美顔水に似てゐます。」

顔を洗つた後で必ず美顔水を附けておく事にすれば、硬水の害を防ぐ事ができます。私は浴後と洗面後に化粧用美顔水を附ける事を缺かしません。續けて使つてゐれば垢ぬけする事も確かで、此點舶來化粧水デクージャント以上と思ひます。

御注意

右は去る八月桃谷研究試驗部階上に高貴御用品謹製室を特設せる際御來觀を乞ひたるマリールウヰズ孃の語られたお話の一節であります。美顔水は硬水の皮膚に對する害を防ぎ、續けて使へば垢ヌケして美しくなる事は同孃のお話でも分ります。

尚此の外にも

理想的の白粉の溶水 化粧用美顔水で白粉を溶いてお化粧すれば、白粉のノリが非常によくなり、思ふ儘に美しいお化粧ができます。

▲又にきび吹き出物を治すのには別に「ニキビとり美顔水」がありますから其れをお奬め致します。」

桃谷研究試驗部
▲顧問 丹波藥學博士 山本醫學博士
▲主任 桃谷藥學士 小磯千葉藥學士 齋藤千葉藥學士

2570.148.10

京城日報　第三版

寺内伯の大任

某氏談

我々は寺内伯が大命を拜受し、内閣組織の大任を成就せりとの報に接し、端なくも、朝鮮在住者として一種悲壯の感懷に打たれざるを得ない。壯とは申すまでもなく、我が朝鮮より總理大臣を出したるを榮譽とするものであつて、悲とは即ち朝鮮の治政が之よりして更に大に擧り、所謂佳境より佳境に入る大切な秋に方り、寺内總督を失ふ一事である。然し

△**國家多事の秋**に際して、寺内伯の人物手腕に待つ所甚だ大なるものありといふを以て今日の事ありとせば、唯だ寺内伯が當今の難局に膺り、蹇々匪躬、以て輔弼の大任を全うせられんことを是れ祈る次第である。從來寺内伯が中央の政權に際し内閣組織の候補者として擬せられたるは啻に一再に止らぬのであるが、一體寺内伯が常に自ら期する所は其本領とする所の軍人の面目といふ一點にありて

△**一劍答君恩** と云ふが、即ち其平生の覺悟であると推せらる、故に伯は自ら政治家たるは其本志でないと思はる。併し事苟も大命とあれば水火も敢て辭せざる軍人たる大覺悟に到りては、常に堅持せられたるは言を俟ぬ所であらう。况んや區々一身の利害得失に於てをや。大隈首相の辭意世に傳へられてより既に數月、政界漸く紛亂の狀を呈せんとするの兆あり。顧て眼を國外に放てば

△**歐洲戰亂の大勢**は、今方に混沌として、果して那邊に落著すべきか豫測し能はざる狀勢に在るに加へ、隣邦支那は袁總統殂落の後を承けて、新政府未だ國政の統一を見ず、國情紛糾前途暗澹として居る。之を内にし、之を外にし、聖慮を煩はし奉るも亦甚だ多き限りにこそ。寺内伯は此國家多事の秋に際して一意決然、大命を拜受したのである。吾人は伯の平生に鑑み、伯の覺悟の蓋し尋常一樣に非らざるものある可きを信ぜんと欲するものである。顧れば、明治四十三年七月、寺内伯が

△**明治天皇の大命**を拜受し第三世統監として朝鮮に臨みしより烏兎匆々、既に六年餘を閲して居る其の間に於いて日韓併合の大事を成就し、聖天子一視同仁の大御心を奉體して、綏撫の大方針を確守し、伯は克く所謂一介の武辨を以てして、克く今日の治蹟を擧げ得たのである。蓋し世の寺内伯の政策を目して武斷政治なりと非難するものあるも、吾々は寺内總督の一體の遣り口より推斷すれば、軍事上の根本精神より打出し來り、其原理原則を政治的に應用したるものなりと言ふを當れりと信ずる。其

△**行政上の統系** 秩序整然として、何處までも、徹底的なる、實踐躬行を示し以て下僚を率ゐ、恩威併施、寬猛兼濟、新附一千三百萬の同胞をして堵に安じて生を營み、産を興し、我が皇恩の深且つ大なるに感泣せしめ、一平ならざる周邊の波動に對しても微動の機をだも與へなかつたのは一に寺内伯の此の權威ある統治の結果に歸するの外はない。近年中央の政界は政爭の渦亂連續し、爲に國是の根柢に動搖なきやに疑なき能はず。我々は

△**國家百年の大計** より見て甚だ深憂に堪へざる次第である。乃ち今日我が朝鮮より寺内總督を失ふは實に忍びざるものあれども、之を帝國の大局より見て復た止むを得ざる事とし、寧ろ此際に寺内伯が總理大臣として時局解濟の重任に膺りし事を欣幸とし榮譽とするのである

新内閣に期待す

原田朝鮮社長談

寺内總督が併合の當時大命を奉じ施政の方針を宣明してより以來一定不動の方針を定めて今日迄著な行程を進め諸般の施設著しきものありて之を併合の當時に比較すれば

▽**轉た隔世の感** なき能はず若し寺内伯に望むに今後五六年の歲月を以てせば伯が年來苦心の經營を傾注し朝鮮統治の上錦上花を添ふべきものありしならんに伯の遠大なる理想の發現が其半途にして去らんとするは吾れ人共に惜しみても尚ほ餘ある次第なり。併し乍ら既往六年間朝鮮開發に腐心されたる寺内伯は今回内閣の首班として朝鮮と直接の關係を斷ちたる後に於ても必ずや其方針を承繼し得可き適當の人物を推擧して後任に銜らしむるは信じて疑はざる所なれば内鮮人共に

▽**意を安じて可** なるべし。飜つて中央政界の形勢を觀望するに曩に政友會多年の專横山本内閣の時代に於て端なくも一大頓挫を來たし世間漸く政黨政治の弊に堪へず人心厭倦の兆ある際に大隈内閣組織せられ人心翕然として之に嚮ひ大隈内閣萬歲を謳歌するに至りたるが爾來歲月を閲するに從ひ[illegible]其宜きを失ひ世人の同情も次第に去りたり此秋に當り寺内内閣の出現したるは國家將來のため慶賀す可き次第にして殊に伯が其誠心誠意と他に類を見ざる[illegible]とを以て當らば必ずや目下の

▽**政界を廓清す** 可き真面目の政治を見る事が出來て政界に一大光明を認むるに至るべし伯が政黨に關係を持たざる爲に内閣の生命を云々し憲政の軌道を無視したる行爲なりとするものあれども今日の時勢に鑑みる時は其何人たるを論せず最も實力ある人物出で、國民の滿足する善政を施すに於ては自から人心を收攬し得て期せずして其所に有力にして知識ある

▽**多數の國民の力** を借り得る時機到來せん事復た疑ふべからず かくして自然に健全なる政黨の發達をも望み得べきなり只だ望む所は寺内一流の本領を發揮して内外の所謂内治に外交に秩序と徹底力あり所謂期に辜負せず時局の解決を了せられん事を祈りて已まざるなり

何とぞ我朝鮮統治に於けると同く良成績を以て此紛糾せる時局の解決を全うせん事を祈つて止まぬのである

黃海道を縫ふて（一）

尉の子生

標題は道内を遍歷した樣であるが往日數は僅々十日に過ぎず、殊に其の主とする處は鑛山の視察に在つた爲め旅程の都合上主要な都邑は概ね素通りをせねばならぬ樣になつた、從つて地方の產業や經濟狀態の調査と[illegible]であるが日數は少かつたに比して多數の主要鑛山を視る事が出來たのは竊に愉快とする處である

□**恐しい鼾聲** 本來ならば二十八日午前に出發する豫定であつたが樂山鑛主の小林藤兵衛氏が好意のお供をして樂山に行くからとて同行を勸めらるゝ儘にさらば二十七日夜南大門驛發汽車で出發した、此の夜開城邊りまでは馬鹿に蒸し暑かつたが乘客の寢靜まるに連れて次第に寒さを增し沙里院に降りる頃には冬服の上に膝掛けを被つて慄へてゐた、宿に著いて溫い蒲團に潛り込み吹き荒む窓外の風をよそにいゝ氣持ちで夢現の境を彷徨してゐると突然枕邊近くに咆哮の聲が起つた、驚いて頭を擡げると其れは合宿の小林氏が鼾聲である、自分は今まで鼾の聲も隨分聞いたが之れ程猛烈な鼾は今度が初めてゞある、チット耳を傾けてゐると近くで野獸の嚙み合ふ聲か若しくは遠くで櫻島の爆音を聞いてゐるのと少しも違はない、實際自分は野獸の嚙み合ふ聲も櫻島の爆音も耳にした譯ではないが同氏の鼾を聞くと此の凄しい物音と恐しい光景とを想像せざるを得なくなる、間も無く隣りの客も夢が破れたと見えて寢返りを打つ響がする、續いて舌打ちをする音がする、夫れでも御當人の小林氏は天下泰平で雷鼾をくつしりと枕に喰付け乍ら[illegible]になつて鼻から吹くのか口から出すのか知らぬが徐々盛に物凄い音を立てゝ心ゆく儘に眠を貪つてゐる

□**宿屋改良論** 抑も錢湯には組合の規則があつて癩病は素より癩病風癩其の他公衆の忌避する病人は一切入浴を謝絶するといふ事になり現に何處でも之れを勵行して居るに拘はらず旅館には旅客の最も忌避する此の鼾かきを謝絶する規定が無いのは不都合である、旅客中には往々隣室の馬鹿騷ぎに氣を腐らす者もあるが之れには蒲團の中から聞いて居ると多少の趣味があり又た何時かは鎭まるに極つたものであるけれども鼾聲に至つては全く無味無趣である上に延つ放なしの徹宵と來てゐるから之れ程他の旅客に取つて迷惑なものは無い然るに旅館では三味線止の規定はあつても鼾かき法度の規約が無いのは不埒千萬である宿屋なぞも今後宜しく宿帳持參の際先づ其客に鼾の病があるか無いかを糺した上若し有ると白狀すれば之れを離屋に隔離するか左も無くば直ちに謝絶して他の旅客の安眠を擁護しなければならぬ、萬一匿つて宿泊した者は相當の科料に處し且つ其の距離の遠近に依つて泊り客の宿料中幾割かを代償せしむ可きである、斯んな事を考へ乍ら眼を塞いだり耳を掩うたりして百方催眠の手段を盡したけれども其れは全然無用の努力に了つて遂に夜が明けた、黃海から襲らに吹き付ける夜來の風は益々度を加へ砂を捲き礫を飛ばす中に一行車を連ねて宿から三四町を距てた自動車屋に著いたのは二十八日午前八時五十分であつた

内閣總理大臣兼大藏大臣
兼外務大臣 寺内正毅伯

内務大臣 後藤新平男

司法大臣 松室致氏

文部大臣 岡田良平氏

農商務大臣 仲小路廉氏

遞信大臣 田健治郎男

陸軍大臣 大島健一氏

海軍大臣 加藤友三郎氏

十日朝刊
夕刊と合せて十二頁

本紙定價 一部金三錢五厘一ヶ月金八拾錢郵稅一ヶ月金拾五錢郵送に限り三ヶ月二圓九拾錢六ヶ月三圓七拾錢▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢▲雜報欄内一行金壹圓貳拾錢▲三號活字の一行は二號活字同様▲指定の一行は五號活字同樣
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用三四五番 營業用三二六番 京城三〇〇番

大阪期米（九日）

前場寄付不揃△中限寄付十四圓六十一錢△先限寄付十[illegible]

[illegible]返して二節を送りたるが大阪後寄九十一錢と安入電に接し九十錢と押したるも買庭勝にて三錢と返し引際買物現はれて更に八十九錢と押したるも九十一錢と返して小鈍き成行を示して[illegible]

▲**反撥の手振** [illegible]

▲**能く買ふ** [illegible]

▲**押目平否平** [illegible]

大阪三品

[illegible]

婦女界特別號 婦人修養號

主婦の讀物

塵も積れば山となる……都河主幹
▲婦人修養の店、夫々は圓毛の被を積んで既に幾千の百以上に達しました此の形ある物の積もるが如く形なき修養の跡も積れば山となりて共に無限の力は人生の旅路なかにも現はれ時は冬の好季節も身を支へ精讀を願ひます
良妻となる修養……鳩山春子
不平を言はぬ修養……棚橋絢子
怒らぬ働きの眞義意……嘉悦孝子

難病を看護した經驗
△子供の腦水症を看護した折の苦心……幸子
△瀕死の宣告を受けた肺病を全治させたみかつき……子
△瀕死の赤痢病を救つた看護の經驗……めた
△子供の一生を得た産褥熱の看護……靜子
△子供の丹毒症を看護した經驗……芳子
△手子供のヂフテリーを看護した經驗……まつ子
△子供の後れの爲めに愛兒を失つた經驗……孝子
△子供の疫痢病を未然に防いだ經驗……枝

誘惑と戰つた經驗
△夫ある身で誘惑に陷らんとした私……ひ
△虚榮の誘惑と鬪ひつゝある若き妻……女
△恐ろしき誘惑に苦しんだ處女時代……花子
△貧しき戀の誘惑に戰つた私の七年間……すみれ
△優しいお師匠さんの恐ろしき野心……子
△少女雜誌に投書して誘惑さる……きく子

△獨身婦人の悲痛なる告白……大塚董子
△迷信から來た悲慘な實例……淺田夫人
△ヒステリーは順境の婦人に多い……下平學士
△子供に多い關節の結核症……野谷醫學士
△絹物を上手に洗濯する秘訣……吉田敬輔
△滋養の點から見た酒精の價値……澤村博士
△季節向きの野菜料理……松井きく子
△月收四十圓で八人家内……石田廣山
△菊の紅葉の插花法……北原一三男
△指や手先を美しくする法

家庭小說 憂き身（雜誌小說界に文と例のない大許判）……柳川春葉
繪附錄（家庭と題する新面大のもの）……鏑木清方筆

本日發賣 □本號特價二十五錢（送料二錢）□一年前金二圓七十五錢
出來 振替東京一〇二八三 東京市麹町區加賀町 婦女界社

秋季特別十月號 文章世界（本號に限り定價金五十錢 郵稅三錢五厘）

小說五篇
侏儒の運命……中村星湖
大きな屋敷……須藤享生
動搖……谷崎精二
ある蝶の死……田山花袋
獨身主義……森田草平

ロシア民族性のシンボル……昇曙夢
懸賞作品發表……（當選四百篇）

手紙の中より……武者小路實篤
△江島修君に答ふ……平塚らいてう
△生田長江君に……岩野泡鳴氏
藝術の死滅……長谷川天溪
秋雨の日の別れ……田山花袋
文壇近事……加能作次郎
△院展出品畫を見た……西村渚山
最近の評論家……赤木桁平
▲歌壇新進十一人集を讀む……牧水、哀果、夕暮、白秋
▼これから文壇に出やうとする人々に……生田長江

東京本町 博文館

フースヒー

臺灣糖業政策確立の必要
◎裏面より見た最近の臺灣◎台同問題と人物◎岡山縣男子師範學校の騷擾
ブースヒー……關東都督府民政長官白仁武を月旦し痛快淋漓
◎是非高橋是清の滿鮮十產◎鄭家屯朝陽坡事件を論じ我政府の人物を評し日本外交の失態を痛憤し滿洲政策の確立を主張し滿洲統一論を論じ南滿鐵に鐵槌を下し鮮朝鮮總督を望む

滿鮮の半面

◎滿鮮遊草（湖江漁客）◎御來屋の懷古（山陰生）◎ベテン師大隈◎石川縣選舉無類事件（院内閣失政史論）

貴族院新人物解剖論……水明樓主人

毎月一日十五日發行 共部一錢五厘 一冊三錢 一年分六十錢 半年分三十錢 郵稅一年二十錢（冊五錢）

東京下谷 フースヒー社 振替二四五八四

○元老に御諚を賜ふ
後繼內閣の組織に就いて

山縣公、大山公、松方侯、西園寺侯は九日畏き邊の御召に依り大山侯は午前八時三十分山縣公、松方侯は同九時三十分西園寺侯は同十時何れも宮中に參內表御座所に於て拜謁仰付けられ　陛下より後繼內閣の組織に就き四元老の盡力を御嘉賞あらせられ倚閣僚を補佐して國務に盡力せよとの有難き御諚を賜はりたり四元老は恭しく御諚を拜して闕下を退出し後內大臣府に入り折柄參內の寺內新總理大臣と會見今後の政策に關し打合を爲したり（東京特電）

○寺伯內閣成立伏奏

寺內伯は九日午前九時四十五分大藤副官を從へ自動車を驅つて參內先著の山縣公、大山公、松方侯、西園寺侯、各元老と會見し內閣組織に盡力されし好意を謝し終つて伯は表御座所に於て　天皇陛下に拜謁仰付られ去る四日大命拜受後閣員詮衡に著手したる結果漸く其の人選を了へたりとて銓衡の次第を伏奏し親任式御擧行を奏請し闕下を退出せり（東京特電）

○內閣親任式
大島陸相加藤海相留任

天皇陛下には九日午後二時陸軍樣式大元帥の御正裝に大勳位菊花章御佩用の上表御座所に出御大山內大臣、波多野宮相、鷹司侍從長侍立の上寺內伯以下左記諸氏に對し頭書の官記を御親授遊ばされたり

任內閣總理大臣兼大藏大臣　朝鮮總督元帥大將從二位勳一等功一級伯爵　寺內正毅
兼任外務大臣　內閣總理大臣　寺內正毅
任內務大臣兼鐵道院總裁　正三位勳一等男爵　後藤新平
任司法大臣　帝室會計審查局長正三位勳一等　松室致
任文部大臣　正四位勳二等　岡田良平
任農商務大臣　從三位勳二等　仲小路廉
任遞信大臣　從三位勳二等男爵　田健治郎

大島陸相加藤海相の辭表は其の儀に及ばずとの御沙汰ありたるを以て**兩相は孰れも留任**せり（東京特電）

○高官任命

九日左の如く任命ありたり（東京特電）

任法制局長官（一等）特に親任官の待遇を賜ふ　樞密院書記官長　有松英義
任大藏次官（一等）　朝鮮銀行總裁　勝田主計
任警視總監（一等）　樺太長官　岡田文次
任內閣書記官長（二等）　朝鮮總督府總務局長伯爵　兒玉秀雄
任內閣總理大臣秘書官（三等）　朝鮮總督府事務官　池邊龍一

○各大臣辭表聽許

大隈首相並に各大臣以下（陸海軍大臣を除く）の辭表は九日左の通り聽許あらせられたり（東京特電）

內閣總理大臣侯爵　大隈重信
內務大臣　一木喜德郎
司法大臣　尾崎行雄
大藏大臣　武富時敏
農商務大臣　河野廣中
遞信大臣　箕浦勝人
文部大臣　高田早苗
外務大臣子爵　石井菊次郎
鐵道院總裁　添田壽一
內閣書記官長　江木翼
警視總監　西久保弘道
依願免本官（各通）

○西鮮經濟狀態

西鮮地方は水害に罹り米作の前途 [illegible] め荷渡へにて在荷漸く [illegible] 高調となりしも一割方 [illegible] 又新物の出廻りも次 [illegible] 見込立 [illegible] 加し眼 [illegible] し幾分の [illegible] 想したるも出廻り極めて少なく從て資金を呼ぶべき何等の材料なき金融の [illegible] 類に對する爲替資金の需要を增加し金融稍引緩りの狀を示せり平壤四銀行九月末預金總額は百六十二萬四千 [illegible] ものあらん九月中平壤稅關通關貿易額は三十七萬一千圓にして內鮮移出一萬 [illegible] 移入三十五萬七千 [illegible] 圓紙一萬四千圓 [illegible] 圓マッチ五千圓等なり因に鮮銀平壤支店九月中金塊買入高は六十五貫五 [illegible] 概して振はず自然金融緩漫にして一般に沈衰の狀態なりしも中旬に至り天候漸く回復すると共に收穫豫想立ち隨つて販路に向ひつゝあり輸入品は一般に活況を生じ來れり就中金巾及び絲類最たり目下米價は十圓五六十 [illegible] 三千百三十四圓工業資金三萬千六百圓商業資金十八萬六千七百三十五圓預金十二萬五千六百三圓にて前月に比し八千九百八十八圓を減せり又爲 [illegible]

○隈侯へ前官の禮遇

九日左の如く辭令ありたり（東京特電）

正二位大勳位侯爵　大隈重信
特に前官の禮遇を賜ふ

○新內閣員網羅經緯
最初の方針を變更＝遂に超然內閣

新內閣組織に際し寺內伯の後見役たる山縣公は超然內閣にては識者の非難を被り國民の同情を失ふを以て何處迄も擧國一致を基礎とす可く之が爲め、多方面より人材を援擢すべしとの意見を有し依つて官僚派に關係無き平沼檢事總長、山川帝大總長をも擢用せんとし尙他にも人材を物色しつゝありしが、政黨との交涉に就き幾多の曲折あり爲めに內閣組織の進捗を妨げんとする形勢を生ぜしより先づ內部を固むるの必要上廣き範圍に亙り各方面より人材を求むるの方針を變更し遂に後藤男を中心として閣員を網羅し茲に純然たる超然內閣の樹立を見るに至りしなりと（東京特電）

○長谷川元帥首相訪問

長谷川元帥は九日午前九時半寺內伯を麻布笄町の自邸に訪ひ會談數刻に及びたるが其結果として元帥は多分朝鮮總督の印綬を帶ぶるに至る可し（東京特電）

法制局長官　有松英義氏

○總裁報告
政友會協議會

政友會にては寺內內閣成立に就き九日午前十時より本部に協議會を開き原總裁以下代議士四十餘名出席劈頭原總裁は八日寺內伯の訪問を受け會談したる模樣を述べ尙新內閣に對する黨としての贊否何れとも言明せざりし旨を報告したるに對し松田源治氏は政黨を基礎とせざる寺內內閣には到底贊成する能はず我黨は宜しく清浦內閣流產當時の決議の趣旨に基き斷然之れに反對すべしと述べ原總裁は本日は格別我黨の態度を決定せんとするに非ず唯寺內伯との會見顛末を報告したるに過ぎず黨の態度は追て諮問する所あるべしと答へ結局滿場一致總裁の報告を承認する事とし散會せり（東京特電）

○加藤子を總裁に推戴
新政黨を憲政會と命名す

新政黨の幹部たるべき高田、尾崎、河野、武富、箕浦、若槻、島田等の諸氏は九日午前加藤子邸に會合今回の政變並に新黨創立に關し意見の交換を爲し午餐を共にしたるが之れと同時に新黨創立準備委員も同邸別室に會合し協議の結果新黨總裁に加藤子を推戴する事、並に新黨を憲政會と命名することに決し散會せり（東京特電）

○張督軍解決を急ぐ
賠償其他諸問題の發生を防ぐ爲め

張督軍は鄭家屯事件は日支當局に於て平和に折衝し且つ後來の賠償其他紛糾問題の發生を防ぐ爲め第三者の調停を拒絕し速に之を解決するの甚だ利益なる旨を政府に電告せり（奉天特電）

○露軍激戰

露軍公報に曰くプロゼザニに於て今猶激戰繼續中なり又ドブルヂアにては攻擊を續行しつゝあり露軍はナラバ河及びバスールを占領したり（倫敦電報）

○英國貿易
九月中旬に於ける

英國九月中旬の貿易は輸入に於て七百萬磅、輸出に於て一千百萬磅を增加し既往九箇月間の貿易は輸入に於て千六百萬磅輸出に於て九千六百萬磅を增加せり（倫敦電報）

大藏次官　勝田主計氏

○第二回佛國債發行

佛國政府に於て第二回五分利國防公債を今回發行するの件に就ては過日來外電にて屢次報道せられ既に周知の事實なるが日佛銀行東京支店に就て聞くところに依れば矢張前回同樣同支店に於て申込を受付くる由既に多數在留外國人よりの申込に接し居れりと云ふ

○露國の贅澤品輸入禁止

露國政府にては客月二十六日開會の閣議に於て商工大會の提出に係る贅澤品輸入禁止法案は遂に通過する所となり緊急勅令として發布のことに決定したるが其結果十一月二日より左の諸品を贅澤品として輸入を禁止することになりたる旨浦鹽朝鮮代理店より九日朝鮮本社宛通信ありたり尙ほ左記の內セイクワ乃ちウワ紙とあるは電文不明のため前記支店より本野駐露大使宛照會中なれど多分セイクワは生果なるべく若し果して然りとすれば朝鮮の生果が目下出盛期なるため曩には滿洲輸入を禁せられ今又露領輸入を禁せられなば一大打擊と云はざるべからず其他の商品に就ては朝鮮と直接の關係は無きも內地の貿易商及び運送業者に取りては其の打擊を蒙ること尠からざるべし

セイクワ、果物煉合物（パンテート）、罐詰類、煙草、酒、魚、蝦、牡蠣、鳥毛、革製品（靴を除く）、花、寶石、眞珠、石絨、陶磁器、ウワ紙、コスメチツク、化粧品、金製品、樂器、天鵞絨、プリユーシ、絹製品、毛織物、婦人用帽子、毛皮、玩具

內閣書記官長　兒玉秀雄伯

○救護機關統一
京城佛教團の發起

京城に於ては十餘年前南山本願寺內に行路病者收容所を設けしより以來京城府も亦豫算面に救護費を計上し前記收容所の外に總督府醫院施療部にも委託して每月平均四十三名內外の行路病人と之に多少の行路死亡者を加へたるもの、爲に一千圓以上の救護費を支出し居れり從來は內地人を本願寺に鮮人を總督府に收容し來りたれども設備の不完全なるため種々の不便を感じ居たるが本日よりはセブランス病院も此救護事業の一端を助けたしとの申込ありたれば收容力に多少の餘裕を生ずる譯となりたり然るに如斯救護事業の機關が區々たるに於ては諸種の不便を生ずるを以て何等かの方法を講じ統一したる救護機關を設けばやとの意見出で府及び山口太兵衞氏及び佛教徒との間に交涉の結果遂に京城佛教團の發起を促し各派聯合にて救護機關の統一を目的とせる計畫を見るに至りたり其方法に就ては未だ懸案中なれども愈々實行に著手すれば總督府よりも相當の補助金を與ふること內定し居りて近く實現を見るに至るべしと

○經濟研究會

經濟研究會第四次例會は九日午後六時より銀行集會所にて開かれ出席者三十餘名食事の後度支部事務官野坂直次氏の滿洲露領視察談あり十時散會せり

○衛戍病院長新任

左の辭令あり

陸軍二等軍醫正　醫學博士　室谷脩太郎
京城衞戍病院長を命ず
朝鮮總督府醫院醫官兼京城醫學專門學校教授醫學博士　室谷脩太郎
依願免本官並兼官

人事消息

▲金杉英藏氏（總督府醫院醫官）九日夜入京不知火へ
▲谷井濟一氏（朝鮮古蹟調查委員）九日夜入京巴城館へ
▲林愛作氏（帝國ホテル支配人）▲荒木三郎氏（鐵道院西部管理局營業事務）▲生野團六氏（ジャパン、ツーリスト、ビューロー幹事）▲金谷正生氏（日光金谷ホテル支配人）▲山口修一郎氏（箱根富士屋ホテル支配人）▲松田滿四郎氏（輕井澤ホテル支配人）▲深野富三郎氏（東京精養軒支配人）▲潤田精氏（奈良大和ホテル支配人）▲坂倉正太郎氏（レーキ、サイド、ホテル支配人）▲新井濱口宗兵氏（京都ミヤコホテル支配人）▲鈴木伊三郎氏（日光ホテル支配人）▲中村伊津吉氏（奈良ホテル支配人）以上入京中の處十日朝京

南言北語

枕ばみになつた希臘も何うやう漸く中立の看板を撤廢してデソ職宣する事とせう▲が獨逸に對しては今だから勃牙利丈けだよは何處迄も齒切れが惡い▲之では戰後措置も同樣にと巴爾幹處分に頭を突ぎ込まするや否は問題だ▲其れに反し男らしい塞耳維は一戰敗國を失つて多島海中の一孤島に氣焔を揚けて居たがポツ／＼領土の恢復が出來だしたので更に男ッ振りを上げた▲男ッ振りと云へば頑固な事で益々男ッ振りを上げて居る張勳老人▲勢ひに乘じて軸任命令をハネ付けたのみならず安徽督軍を返上すると大きく出てグツと北京を睨んだ處は物凄い▲而うして置て再び徐州會議を開催するなんて云つて居る處は老人却々味をやる▲張勳派は徐州會議／＼と云つて居るが政府が徐州に移つたのか若くは支那に二個の政府が現在して居るか其處の邊が頗る妙だ▲北京ガゼツトは段氏は何故に徐州會議を看過して居るか若し之れが手に合はぬとすれば段氏の責任に歸する處である▲張勳を恐るゝか或は會議と何等の關係があるか何にせよ不徹底たるもので段氏が大總統を無視し、張勳の行動を看過するは世評に莫者をして居るも同樣だと喝破して居る▲新聞が新聞だから成る程と早速感服する事も出來ぬがまあ鳥渡考へると其の樣にも思はるゝね▲昔から能く物に恐れぬ英雄豪傑の形容詞に鼾聲雷の如しと云ふが▲鼾は生理學上胃か鼻に故障のある人に限る極く健全な人は鼾はかゝない相な▲果して胃病か鼻病であるとすれば英雄豪傑の鼾聲は寧ろ氣の毒なもので胃病の豪傑や鼻聾の英雄ではやりきれぬ

□附錄　本日再築落成號附錄四頁

創立八年　俳諧教授の經驗極て深遠也
講師は現代第一流の宗匠親切丁寧平易明快なる添削
最新　俳諧講義錄
俳句　雜誌每月進呈　會員に限り俳句一切無料添削す
會員大募集　俳諧の秘訣を求むる人は來れ　會則無代進呈
此際入會者に俳書進呈無代外空前大特典
東京小石川　大日本俳諧講習會

小學教員たらんと欲する男女は本會に來れ
本會は師範の課程を通信で教授す
師範本科一年半、前期部（正准教員）六ケ月、英語部一ケ年卒業
會則無代進呈
會長澤柳博士
東京市牛込區津久戶町二四　日本師範學會
師範講義

最近藥劑師試驗問題註解　最近二百題を擧げ註解を施す▲定價金三十五錢也
會員募集　見本會則入用者は郵券を送らるべし　藥劑師志望者は入會申込まるべし

日本藥學講義錄　完結
東京丸の內　日本藥學講習會

登錄商標

日鮮人向　漆器指物　家具膳椀　重箱鏡臺　卸
朝鮮京城壽町　丸五漆器
電話一二七四番　京城振替三五九番

鐵砲は横濱の金丸に限る
獵着（和洋獵銃獵具、無煙裝彈、火藥、散彈、其他全備）
（獵銃定價表郵呈）
橫濱市本町　合資會社　金丸銃砲店
電話一五五一　振替口座東京四七一番

□いざ祝はん　皇子の御榮

立太子式奉唱歌詞の發表

十一月三日立太子式に際し全國小學兒童をして奉唱せしむべき唱歌九日左の如く文部省より發表せられたり（東京特電）

めでたき今日のためしとて　壺切の太刀つたへます　今日を生日の足日なり　いざや祝はんもろともに

光りさしそふ大御代の　日嗣の皇子のみさかえは　千秋五百秋かぎりなき　いざや祝はんもろともに

◉日本兵は矢張り強い

英領加奈陀で歡迎される我が義勇兵

英佛戰線に立つて日本義勇兵が勇敢に戰つて居る其數は百七十餘名――敵に於て決して多いとは云はれないが歐洲の大戰場に日本人が其の義勇振を發揮しつゝあるの一事は以て大和民族の爲に永久に氣を吐くに足るであらう而も其の義勇兵は加奈陀

▲日本人會の主唱 に依つて募集されたものである第一回に應募しアルバータ州第十三大隊に入隊した四十七名の成績が極めて良好であつた結果加奈陀陸軍では愈々日本義勇兵に垂涎し各州競うて之が募集を加奈陀日本人會に申込んで來た乃で日本人會では此際成るべく多數の義勇兵を出し大和民族の義勇を示すと同時に移住國の爲に盡すこと母國に盡すが如く決して

▲同化せざる國民 でない事を事實に證明しやうと努力した無論之に依つて幾多の排日問題中歸化邦人選擧權獲得の懸案を解決し日本人の加奈陀發展、延いては世界的發展に貢獻すべき深甚の意味も含まれて居るのであつた乃で第二回の募集で出征した者が五十七名出征せざる者は能ふ限りの醵金をして此の出征同胞の後援を圖るといふ一致の態度に出でた

▲一義勇兵の來信 に依ると『自分等はハリファックスから乘船しリバープールに上陸する迄水雷艇に護衞せられ夜間の睡眠時間以外は救命袋を身體に括りつけて獨逸潜航艇の襲擊に備へたり斯くて倫敦より約四十哩なるションクリフ兵營に送られ主として塹壕戰の教練を受け約一箇月の後佛國戰線に立つに至れり』とあつたが其後續々義勇兵の應募を見現在各隊に入營せる義勇兵は

▲百七十餘名に達 したが而して去月ビーシー州の總選擧に際し是等の邦人義勇兵に加奈陀兵員選擧法に依り選擧權を與ふべく可決さるゝに至つた是れ實に最初の希望が達せられた譯でまた日本人の海外發展に一大新記錄を作つたものと謂ふべきであらう

コスモス　――佛蘭西教會構内――

◉燃料に窮つた遮斷區域内の鮮民

篤志家等其筋と協力して救助班を出す

仁川に於ける遮斷區域内居住民は府の救助に依つて辛ふじて糊口を凌いでゐる事は既に報じた處であるが

▲鮮人の習慣 として野に山に雜草を刈り松葉を搔き集めて燃料とするのが常であるが本月以來其れが絶對に出來なくなつた爲め普通の家には最早燃料としての貯へが殆ど無くなつた、此れが爲めに施米は受取つても炊く事が出來ないから止むを得ず床を剝ぎ、戶を碎き、器具を割つて燃料に代へ或る者は燃料の總てを悉つて下駄や釜の蓋や箪笥迄も炊き、倚憚らず屋根を捥り便所の板を取つて薪としつゝある樣な始末で毫く共

▲三百戶の貧家 は數日前から家の周圍には燃燒物の何物をも殘さゞるが如き慘憺たる光景を呈して居る、警察署では此の慘狀を默過するに忍びず、三四日前から燃料の缺乏を訴へてゐる窮家を調査して手の廻る範圍に於て薪の支給を行つて居たが、一日延びれば一日丈け窮困の度を增して少小の燃料では燒石に水で何等救助の目的が達せられないから六日府廳及び警察署、鮮人紳士紳商會合の上篤志家の寄附を募り、薪を購入して頒與する事に爲し七日朝から

▲四百把の雜草 を黃海道より入津した舟から購ひ千本の枕木を鐵道局から拂下げて同日正午先づ松林里松峴里等から各戶毎に一定の量を配與させた、然るに何分久しい間燃料不足に苦しめられて居た矢先とて多少貯へのある者迄が窃かに之れを隱蔽して救助班を襲ふ爲め、係員は應接に遑無く各戶に就いて窮狀を調査しては、其程度に應じて給與せねばならぬので鮮人の哀訴嘆願の裡に包圍されて轉手古舞の姿である

◉獨潜航艇　英商船を擊つ

ウエスト、ポイント沖にて

ボストン著無線電信に曰く七日ニユーポートに入港せし獨逸潜航艇は八日朝ナンタケット島の南五十浬なるウエスト、ポイント沖に於て水雷を放ち英國の一商船を擊沈せしめたり船員は端艇に乘込みて遁れたるが之れより先き船長は同船を去らざるに當つて無線電信を以て沿岸救難船に救助を求めたり（紐育電報）

懲役十三年明役は同十二年の處分となれり

◉大賊捕はる

三重縣鈴鹿郡井田川村生れの國分與吉（四六）は前科二犯あり朝鮮各地を徘徊し土方稼業をなし居れる間賊と變じ大邱元町一丁目東洋舘に止宿し釜山京城間を股に掛けて荒し廻りたるが去る八日中釜山大倉町梅津某方に忍入り衣類數十點在中の柳行李一個（百七十餘圓）を竊取したるを手初めに釜山にて外三個所より竊取したる衣類雜品等は大邱大田にて僞名を以て入質し九月八日夜は京城南大門驛構内にて貨物係の混雜中に紛れ込み衣類數十點在中の柳行李一個（百八十圓）其他京龍にて二回の竊盜を働き此の內紋付羽織一枚を市內の質屋に入質したることより足がつき釜山に逐電中を本町警察署の手配に依りて取押へられ取調べの結果倚大邱大田等を荒したること判明せり以上竊取したる金品の總額約五百圓以上に達し大邱に馴染女を拵へ置きて悉く酒色に消費したる由

◉罪を恥ぢて

京畿道振威郡松炭面佳才里崔基洙（一七）は居村の崔基祥、崔基德の兩人と情を通じたる結果懷姙し本年八月一日夜自宅にて男兒を分娩したるも世間態を恥ぢ直ちに嬰兒を壓殺したる事露顯し京城地方法院にて懲役一年六箇月の處分となる

◉嬰兒殺し

京畿道漣川郡嵋山面廣田里南宮礎（三七）は大正四年舊九月中親族なる南宮礎の妻となり同里居住の李氏と情を通じて姙娠せしめ同年舊五月二十日李氏に嬰兒を殺害すべきことを教唆し同年舊七月一日李氏は廁にて男兒を分娩したる際古帶にて嬰兒を絞殺せし事發覺し南宮礎は教唆罪に依り懲役一年六箇月（三年間執行猶豫）の處分となる

◉崖崩れて死傷三名を出す

忠南靑陽郡靑陽公立尋常小學校々庭は過般の豪雨にて崩壞し十月一日靑陽郡邑內面校月里より人夫廿名出張して同校より約二十間許り裏手の山にて埋立修繕用の土砂を掘出し中同日午前十一時頃崖約一坪半ばかり俄然崩落して折柄下に居合せたる同里の田順平（二七）は無慘の壓死をなし金元日（四八）李仁錫（三三）の兩名は腰部以下を埋沒されて輕傷を負たる騷ぎに靑陽憲兵分遣所より憲兵出張檢視せり

◉辻强盜

江原道鐵原郡東松面大位里金碧桃（三八）同面觀音洞朴明俊（三五）の兩名は共謀し本年舊三月十二日夜東松面大位里北方約十丁許りなる金化街道にて通行中なる鐵原郡於玄洞面觀麟里洞安教邦を捕へ明俊は棍棒にて教邦の後頭部其他を毆打し同人の所持金一圓十錢及び明太魚三十尾を强奪したるを手初めに碧桃は單獨にて其後二回兩名共謀して二回同樣手段を以て辻强盜を働きたる一件は此程京城地方法院にて碧桃は

◉扇子で命を取る

平北龍川郡內中面谷洞崔用燮（五一）は九月十九日義州郡批峴面鶴峴洞金應先方にて義州郡威遠面上端里金世述と農旗授受のことより諍論を初め相手は携へあたる扇子を以て金の額部を傷け且つ同人の鳩尾に扇子を突き刺して急性腹膜炎を惹起し同月二十二日遂に死亡せしめたる爲め新義州警察署に引致せられ一件記錄と共に檢事局へ送らる

◉毆つて十圓

京城若草町一丁目居住滋賀縣生れの大東德次郎（三七）は同町生田某方に雇はれ中九月十四日雇主が請負ひたる景福宮便所の移轉工事監督の爲め同所に出張した際高蕭洙なる者が溝の中に土塊を投り込みたるより詰責したる上スコップにて蕭洙の右顳顬部を毆りつけ治療一週間の創傷を負はせ罰金十圓の處分となる

◉鮮女の轢死

京義線沙里院沈村間に本月二日午前七時頃朝鮮婦人の轢死者あるを發見し沙里院憲兵分遣所より係員檢視せしが轢死者は鳳山郡舍人面大梧洞李淳浩妻金成良（三〇）と言ひ豫て居洞の若者と私通し居りて夫婦間に風波絶えず九月三十日夜も喧嘩の末無斷家出し多分良心の苛責に耐へず覺悟の自殺を遂げしものならんと屍體は夫が引取りたり

◉翠丸を蹴る

忠南唐津郡沃川面成元里宋周三（三五）は九月十二日飮酒して同里の鄭致壽と角力をなし二回共周三が勝ちたるより致壽は負腹を立て周三の著衣を引裂きたる上掴み蹴りて爭鬪となり周三は致壽の翠丸を蹴り急性尿毒症を惹起して同月十四日遂に死亡せし爲め公州地方法院にて懲役三年六箇月の判決を受けたるを不服とし京城覆審法院に控訴せり

◉代書業の橫領罪

平北新義州常盤町六丁目居住代書業松野正治（四一）は本年四月初め同地本町內田政次郎外六十一名より新義州の居住者なる箭田恭外五十五名に對する貸附代金の取立方を依頼され九月下旬迄に百二十餘圓集金したる中より九十二圓餘を橫領消費し新義州署に[illegible]致され取調べの上檢事局へ送らる

▲講座の日延べ

[illegible]中十郎、片岡繁左衛門、中村鴈十郎の一行は來る九日限り打揚げの筈なりしも連夜大入の好人氣にて好劇家連の勸めもあれば十日より五日間の日延べをなす事に決せり十日よりの替り狂言は一番目[illegible]、中幕[illegible]、切[illegible]

▲日の本三都子

[illegible]

▲忠臣藏

[illegible]

◉永樂町均陵庵の卜象（十日）▲晴曇[illegible]

コレラ彙報

▲漁船に眞症　熊本縣天草郡赤崎村生れ當時釜山牧之島居住漁夫濱崎時松（二九）は六名の漁夫と共に去月十四日方魚津方面へ出漁中去る五日朝大邊沖にて發病死亡せしより釜山に來り時松屍體は神仙臺大漢坪にて火葬に附し他の同乘者は船と共に停留消毒を命ぜられしが時松は七日午前眞正虎列拉と判明せり（釜山）

▲関福補氏の寄附　龍山山手町関福補氏は金二十圓を防疫費として龍山分隊に寄附したり

▲上陸して發生　京畿道[illegible]里[illegible]は[illegible]の爲め[illegible]上陸せし[illegible]檢診の結果疑似コレラと認め檢鏡中

▲海州に十四名　黃海道海州郡睡鴨島にては八日午前五時迄に鮮人十四名虎疫に罹り內三名は死亡せり（海州特電）

京日案内

（申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず）

普通　配達一名入用　年齡卅歳前後　京城北米倉町　玄米製乳舍　電話一五四七番　495

▼各商店向大正六年カレンダ見本著　京城本町●電二五二七●ウツボヤ書店　427

◉求妻　農業に從事して恩給を有す卅一單身煩累なし廿一より廿六七迄心身確實なるを求む姓名在社　490

◉金融　月收の御方へ信用極秘融通　便宜立替御報伺又御來宅　大和町三　不老湯前橋下る　起木屋　491

◉金融　月收の御方へ信用極秘立替　御報伺上候　質商　花園町八　七本町電車終點　大和屋　479

◉貸家　日本建二階家間數五間湯殿水道電燈付三井物產の附近裏通　蓬萊町四丁目中村（電一九九七）　489

◉家庭教師　又は筆生として傭はれ度し　經驗小學校教育六箇年　資格　尋常科正教員（姓名在社）　484

◉見習看護婦入用　京城本町一丁目　杉本耳鼻咽喉科醫院　474

古本なら野村　買入親切　明治町筋　野村書店　電二六三六　御一報參上　431

◉店員入用　年齡廿歳以下三名入用　志望者至急申出べし但保證人を要す　京城吉野町　岩城商店　476

恩給證書即金立替　新龍山漢江通　六番地　元山町支店　453

◉習字御手本類は何でも有ります　（目錄呈上）　東京市外神田町　九精華堂　江州屋　265

有給外務社員採用　京城鍾路通一丁目二十二番地　日本國債債券株式會社朝鮮總支部　493

▲はれ物たかい、ぢ、おでき、肉ばなれ、さし込▲乳はれ、ねぶい、たみ、せん氣、婦人▲血の道、神けい痛、もみ療治に▲骨つぎ等致します▲京城蔡州通り二丁目六一　氏原內賢瀨わさの　492

◉銃砲火藥獵具　京城本町三丁目電話二〇九二番　增戶銃砲店　488

完全なる大ピアノ一臺　英國物鋼鐵製金庫一個　讓りたし　（姓名在社）　48[illegible]

▲鑛物各種分析　京城太平通二の二三〇元朝陽分析所　電話二八三三　松永分析所　448

病人輸送設備有之候　寢臺車　普通病用傳染病用各別に　京城本町二丁目電話百十六番　京城醫師會御用　前山組　418

魔法瓶中瓶取替　銀線細工其他色々　柳製專賣艶　京城本町一丁目　高木旅行用具店　447

日本人女工募集　健康にして夜勤務に差支なき女工十五歳以上四十歳以下　年齡十五歳以上朝鮮製絲會社　486

見習店員採用　高等小學校卒業年齡十八歳迄　市內確實なる保證人要二名　自筆履歷書持參來談あれ　南大門通一丁目　三國商會　485

◉京城春川間每日自動車賃金片道四圓　京城春川間每日午前八時出發　南大門通一丁目　主務金正淵　電話二一九番　廣橋自働車　428

◉轉居　南山町二丁目廿六番地　日鮮信託社　電話長二一六二番　鑛業及信託業務を專念御取扱可仕候間御用命の程希上候　478

栗ひろい　良場所養政府驛より一丁　但栗飯御茶御用命に應ず　442

開店御披露

今般平壤並成鏡道産撰牛を特約致ヤワイ上等の精肉を御用命に可應候御注文の節は遠近に不拘自轉車にて早速御屆可仕候尙開店御披露の爲め當分添物進呈仕候間倍舊の御引立願上候

すき燒御料理仕出し　京城本町三丁目（日九市場角）　濱野精肉店　電話二四八四番

藥の良き道の血後産前（産前産後血の道の良藥）

婦人寶母散

定價表　本法壹貼金拾錢　同參貼金參拾錢　同五貼金四拾五錢　同七貼金六拾錢　同拾四貼金壹圓貳拾錢　同廿一貼金壹圓七拾錢　同參拾貼金貳圓拾錢
送料　二錢　二錢　二錢　四錢　六錢　六錢　八錢

主治効能　▲子宮病▲血の道▲白帶赤帶▲こしけ▲下腹痛み▲逆上頭痛▲尿膜ゆ込▲難産流産▲氣ふさぎ▲月經不順▲産前産後▲經期頭痛

◎全國到る處に販賣す　◎◎◎◎品物あり御求めの際は　喜谷實母散と御指名願上候

本舖　東京市京橋區中橋大鋸町　喜谷市郎右衛門　電話京橋五五番五六番　振替口座二一五四

株式會社第一銀行京城支店　京城本町二丁目（振替貯金京城一二番）
資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百六拾五萬圓
頭取　佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

日韓書房
新版報告
大内青巒著　人生の快樂　定價一圓二十錢　送料十二錢
久田中編　結婚前の修養　定價九十錢　送料十二錢
福日南木著　清教徒神風連　定價一圓廿錢　送料十二錢
家政研究會編　貯金の出來る生活法　定價五十錢　送料八錢
羽太鋭治著　女の肉的研究　定價九十五錢　送料十錢
京城本町二丁目　電話一四一・五五　振替口座一一一

內科　胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一三七　九二〇　一二九番

ヒコーキ印粉歯磨
シヨーシ止メボスワ安本　一罪　錢　[illegible]
京城本町　熊平支店　長電話六二四番

◉大田經濟概況

九月上旬は降雨勝なりし爲め商況[illegible]の出荷相應にあり下旬に入りて新大豆の出荷に連れ市場活氣を帶び金融[illegible]百卅四口二十五萬四百六十九圓にて前月に比し一萬四千三百九十九圓を增せり是れが用途別は農業資金三萬[illegible]圓を減じたりと[illegible]九百九十[illegible]

[illegible]と同時に現はれしため相場[illegible]の變化し[illegible]て石材四五十錢方の低落を示したり[illegible]しが外國米輸送されたる爲め聊りたる取引なく時恰も秋盆に際として注文著しく殺到るも品薄の爲の賣行き非常の盛況を呈し其他雜貨れを見るに冷氣追々加はりて綿布類[illegible]千疋を增加せり十月に入らば綿糸布の入荷更に增加すべく資金の需要又にして輸移入品の重なるものは綿糸四萬圓綿布七萬八千圓打綿一萬八千

女鳩

渡邊默禪

「二七」樂の音

醫者は毎日見舞つてくれた。火傷の方は追々に快くなつて、繃帶を取替へる時に硼酸とワセリンを塗られるのがぴりぴりするくらゐな程度になつた。赤く爛れた部分の水腫になつたのが、次第に腫が引くのも日毎に目につく。此分ならば皮膚に斑痕が殘らずに全治するであらうと醫者が言つた。たゞ窒息した際にひどく呼吸器を病めたのが原因になつて、急性の氣管支加答兒を起し、發熱はする、食慾が衰ねる、咳が出る、ほとんど肺炎のやうな不良の症狀を持續けたところに、傍から〳〵と不快な刺戟ばかりを持込まれ、その上空氣の流通の惡い部屋に寢かされたまゝ、熱度が高くなつても氷嚢一つ與へてくれる者もない始末だつたので經過は惡くなる一方であつた。醫者は度々家の者に注意もし、又た本人にも言ひ聞けたのであるが、その注意したことが肝心の主人まで届かぬうちに途中で消えて了ひ、又た本人にしても斯うすれば必と良くなると分つてゐながら、どうすることも能きなかつた。

お秋だけは夜分にそつと忍んで來て、水で額を冷やしたり腰を摩つたり、徹夜をせぬばかりに手厚い看護をしてくれた。その度ごとに住江はいつも涙を流して有難う〳〵を繰回してゐた。

もう何とか知らせて來なければならぬ筈だのに、鳩子や主人の消息はふッつりと杜絶れた切になつてゐた。倘しや自分宛の郵便がとゞいても、お孝などが途中で引奪つて了うのではあるまいか。秀子が開封するのではなからうか。とそんな疑ひも起らないではなかつた。けれども進んでそれを取調べて見る術もなければ、鳩子へ問合せの手紙を認めるといふことすら、今の所では叶はぬのである。

或る晩、西洋館の方から賑やかな合奏の音が洩れて來た。誰だか分らぬが五六人連の客がある樣子で、香酒なども出るらしかつた。富士見軒あたりから洋食を取寄せた風にも見えた。と、みんなが寢鎭まつてからお秋がこつそりと入つて來て

『貴女、大變よ。今晩の騷ぎつたら……何だか知らないが、あの輝子とやらいふ變なおばあさんが、三人ばかり若い男を引張つて來てピー〳〵トン〳〵合奏をするやら、ダンスとかいふ妙な踊をおどつて跳ねくり廻るやら、引くりかへるやうな景氣でしたのよ。何でせう、一體、あのおばあさんは……もう五十近い齡をしてる癖に、紅白粉で若粧りをして、髮なんか八の字に分けてさ。知つたかぶりに英語なんか使つてるところが、何てね氣障な、いけすかない女でせう。私、聽いて了ひましたわ』。

と聞いた住江は、喫驚したやうにひよいと重い頭を擡げた。

『ね、ぢやあ輝子が又たやつて來たんですか。まア何といふ圖迂〳〵しい奴でせうね。こつそり來て週つて行くのなら兎に角、公然と連を引張つて來て、そんな馬鹿騷ぎをするなんて、呆れた女ですことね、あれは貴女、女優の古物ですよ』

秀子の實の母だといふことだけは秘してあつたので、お秋には何者だか分らずにゐたのである。

『あゝ女優ですか、道理で……するとあの若い男は何でせう』

『どんな男でした』

『一人は髮を長く伸ばして、鼻の下にショボリ髭を生やして、妙な服を著て、そして袴を穿ゐてました』

『おや、美術學校の生徒でせうか。でなかつたら洋畫をかく男でせう』

『ね、そんな柄でした。それから一人は[illegible]にハイカラがつた氣障な風をして、男の癖に白粉をつけてゐましたわ。それがピアノを彈いたんです』

『へえい。ピアノを……ぢや音樂師なんでせうか。いやになつちまひますわね。それから最う一人は』

『西洋人ですよ』

『ねいッ』。

十月十日より五日間
見切品大賣出し
京城本町 ちゝぶや 電話八九〇番
秩父銘仙 新柄デー
大好評につき十四日迄引續き開催致し候

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進 販賣鳥毛類高價買入れ
高毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

齒科診療
本町二丁目三越向 電話一〇四七番
齒科醫學士 野田應治 齒科醫院

□俳諧散心 (第九回)

燃れ籠頻りに焚くや背戸の柿 田打夫
落ち殘る柿の夕陽や納屋に搗く 同
惡ひ吸ふ畔土の香や秋晴るゝ 同
秋櫻や主人の妻は髮なりき 同
鵯や墓守世事に疎からず 同
秋草や染め干す布の藍滴 同
秋晴れを木に攀ふや製材所 たかし
乾魚と草鞋を賣るや柿の家 同
冷かやいさかふ者に吠る犬 同
溯暮れて樽子語らず崩れ簗 久子
柿二つ佛前の灯のゆらぎ晃 同
鷄頭の畠に主人あり案內せり 盧中子
家々の白き障子や柿の村 同
稍澁き柿の尻食ふて仕舞ひ晃 同
天守閣に登る一團や秋晴るゝ 同

新刊紹介

▲新演藝(十月號) 表紙の梅幸の更科姫の出雲歌舞伎も共によく出來たり寫眞は例の通り新らしい試みの下に三都は勿論地方巡業中のものまで多く集めたるは努力の程も見ゆてよろし。記事には各大家の劇談、本誌記者の同熱せる芝居見たまゝ評識もべきもの多し若し強いて注文すれば現在より更に廣く諸家の劇評を載せて貰ひたき事なり(一冊三十八錢東京芝區芝公園九號地玄文社)

▲現代の圖按工藝(十月號第二十九號) 諸種の應用圖按石版數度刷數葉、記事には德川時代の粋と意匠(醒窓)玩具に關する事とも(小波)等研究發表紹介例の通りあり(廿五錢東京青山南町二丁目現代の圖按工藝社)

▲婦人週報(四十號) 四錢五厘東京牛込市ヶ谷町二の一七共社

▲名古屋商業會議所月報(百十三號) 共社

▲ローマジ(十一號) 十二錢東京麴町有樂町一の三ローマ字ひろめ會

▲日本の關門(十月號) 十五錢下關東南部町一四七時事社出版部

▲千代田(九號) 十五錢[illegible]高原町二一千代田吟社

▲團欒(十月號) 十八錢大阪府豐能郡豐野田村三〇七七共社

▲大陸(十月號) 『運貨問題の今後』『滿洲の將來と日本』『南滿洲水田の將來』等小說には好評を博せる『お富と太郎』を連載す(二十錢大連浪花町三の一〇八共社)

▲東洋時報(九月號) 小松原氏の『歸滿觀察談』後藤男の『師友の地再遊所感』日仁長官の『蒙古の天然資源』久留島氏の『南洋視察談』丸山一高教授の『遊歐追想談』等(五十錢東京麴町區內山下町一の一東洋協會)

▲探偵雜誌(十月號) パーンス氏の『心理學應用巧妙なる探偵術』『兇賊の用ふる記號』『少年暗殺陰謀團探偵』其他大岡越前苦心の探偵『丹羽屋事件』は憑犯人召捕の巻に入る(十六錢東京市麴町區有樂町一の四實業の世界社)

▲日本魂(十月號) 後藤社長の『行啓遙奏の責任を質す』伊豆少將の『乃木大將凱旋復命書』杉浦重剛氏の『葬旅の職業』等見るべし(二十錢東京京橋三十間堀三の七共社)

▲武俠世界(十月號) 『宗社黨美人の仇討』『東亞典型的の二勇士』『怪奇二代目武談』等面白く『髑骨部屋』は本誌自慢の探偵小說(十八錢東京上野公園櫻木町共社)

▲日本一(十月號) 『各方面に亘る日本一の人物』と題し政治界に教育界に宗教界に其他社會各方面より日本一の人物數十人を拉し來りて評論せる面白し(十八錢東京牛込神樂坂通南北社)

▲ホトトギス(創刊廿年記念號) 卷頭には虛子、三重吉兩氏相並んで得意の名文を揭ぐ一を『和世』と題し一を『牧場の出來事』と呼ぶ『杉風論』は今の聖俳人村上鬼城氏が杉風の業に同情して奏曲を盡くせるもの鼕不折畫伯之に杉風の像を盡く虛子氏の『進むべき俳句の道』は例によつて俳句の大道を指示して明快暢達、虛子諸氏の『月並研究』は未だ何人によつて企てられざりし有益なる研究として讃々評すべるもの而して本號より現はれたる雜人欄へは女俳人の文章俳句等を載せて艶麗の色彩を加へたり其他寫生文俳句等夫々數十頁を占めて益々刷新溌剌の意氣を示す定價は記念號なれども普通也(定價郵稅共二十八錢牛込區船河原町一二ホトトギス發行所)

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版・亞鉛凸版
最も新式なる技術を以て親切を旨とし御用命に應じ候
京城日報社 寫眞製版部

新發賣

◎ミツワ水石鹸(みつわみづせつけん)

技師 工學士 藤野太治郎

本邦人の皮膚毛髮に適する化粧用水石鹸

◎ミツワ石鹸が品質純良にして皮膚毛髮の洗滌に適し、衛生美容の資料となるが如く、◎ミツワ水石鹸も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料なり。從來の普通水石鹸には刺戟甚だしく皮膚毛髮を傷ふもの多きに反し、此◎ミツワ水石鹸は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て精製せられ、洗滌に際して隨意に適量を振用することを得、他人の使用せる後にも些の不快を感せず、皮脂の分泌多に而も皮膚粗澁なる本邦人の化粧用水石鹸として、質に理想的の逸品にして、生彩ある化粧を施すに最も好適のものなり。

定價 金參拾五錢 大壜 金五拾錢

(現品縮寫圖)

新發賣

◎ミツワ花の露(みつわはなのつゆ)

技師 理學士 甲斐菲楢香

芳香馥郁たる家庭用肌着香水 オーデ、フリユール

優秀なる原料と馥郁たる芳香とを以て精製されたる家庭用香水◎ミツワ花の露は、温雅なる芳香を有し、清涼爽快の感を與ふる理想的の家庭用品なり。從來の家庭用香水には徒に強烈なる香を放ち、手巾衣類等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、◎ミツワ花の露は人を魅するが如き床しき温雅の芳香を有し、毫も汚點を殘す憂なく、肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面盥浴槽等に用ふれば、清涼の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる香水なり。

定價 金四拾五錢 大壜 金七拾錢

(現品縮寫圖)

新發賣

◎ミツワ月の雫(みつわつきのしづく)

技師 理學士 甲斐菲楢香

毛髮の營養料 頭髮用衛生香水 ヘーヤ、ローション

從來の頭髮用香水には、毛髮を傷め又は毛根を害ふもの多きに反し、◎ミツワ月の雫は温雅の芳香を有し、毛髮の營養發育に効ある理想的の頭髮用香水なり。優良なる品質を具備し、毛髮の衛生に適するミツワ石鹸を以て、毛髮を洗滌せる後此◎ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髮の發育を助け、毫も之を傷むることなく、色澤を艶美ならしめ、脫毛及雲脂の過度を防ぎ、營養を良くするに特効ある美髮料なり。故に毛髮の衛生に留意し、美髮を欲するものには、實に理想的の頭髮用香水なり。

定價 金五拾錢 大壜 金八拾錢

(現品縮寫圖)

賣捌―全國到る處のミツワ石鹸販賣店、若し最寄に取次店がなければ本舗へ直接注文あれ、郵便小爲替振替口座にて送金あれば(內地は送料不要)郵送す(東京市內は假令一瓶一個にても配達す)

◎ 東京市日本橋區橘町四丁目 藥鋪・洋藥品・石鹸・香粧品・小間物問屋 **丸見屋商店** 電話浪花四四八・四四九・四五〇番 振替東京七一番 電信略號(ミヤ)

京城府公文

京城府告示第二十號
京城府廳出張所以外ニ於テ府金庫及京城府ノ臨時收納事務ヲ取扱ハシムヘキ場所及其ノ期間左ノ通定ム
大正五年十月十日 朝鮮總督府府尹 金谷充
一 場所 京城銀行ヨリ 本町二丁目 喜陽地方金融組合構內 竹添町二丁目 京城鍾路消防詰所內 鍾路二丁目
一 期間 自大正五年十月十五日 至大正五年十二月二十八日

新刊書御案内

書名	著者	定價
日本美術史講話	黑川眞道	特一八〇
國語漢文作文辭典	大町桂月	一三〇
故實と新式日本婚禮式	玉置一成	一八〇
投入と盛花挿し方	野田耕州	六〇
木村長門守	金澤璃閣	八五
歐米の諺と格言	大澤定吉	八〇
論語と算盤	澁澤榮一	一〇〇
禪窓閑話	菅原時保	九〇
一喝一禪	南天棒中原	九〇
農村改革策	横田英夫	八五
株式大鑑	堀江宏義	一二〇
古代より現代まで西洋哲學史	若宮義孝	二五〇
英雄功利說の研究	中島力造	一八〇
先見の明	久城潮風	四五
處世講話 世の中と修養	新谷壽海	四五
愛の奇蹟	三浦關造	八五
立志小說 人の兒	堀內新泉	九〇
歌集 玄海	吉田勝義	六〇
わすれな草	北原白秋	六五
戀の傳說	木村恒	五五
學生自習大辭典		
中學校女學校入學試驗豫備書	澤山著荷致候	

京城本町通六八四 電話二〇八六 振替京城二五七三 **大阪屋號書店**

質 堀佐營業所 京城黃金町二丁目 永樂町(高留所北入) (電話六三九番)

大邱浦項間自動車時間
上り 浦項發 前七、一〇 … 大邱着 下り 大邱發 … 浦項着(各驛時刻 [illegible])
電話二一七番 大塚農場自動車部 大邱出張所

日本郵船仁川出帆
大連、大沽、牛莊行 相模丸 十月九日 前八時出帆
高砂丸 十月十九日 正午出帆
三河丸 十月三十日 正午出帆
仁川港町 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪直行
君が代丸 十月十七日 後四時出帆
有代丸 十月廿四日 後四時出帆
神吉丸 十月廿一日 後四時出帆
大秀丸
仁川港 杉回漕部 電話五十九番

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行 立神丸 每月 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 每月二日・十一日・廿一日(十四日・廿六日) 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆
外航路所屬航路遠洋航路を除く航路は五日前に照會を以て乘船切符發賣仕候
群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行 天草丸 十月二十日 / 安東丸 十月十四日 / 漳州丸 十月廿四日 後五時出
木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行 信濃川丸 十月二十日 / 信濃川丸 十一月七日 後二時出
群山、釜山、橫濱行 福州丸 十一月三日 / 潮州丸 十月廿一日 後二時出
木浦、關門、神戶、大阪行 漳州丸 十月十三日 後二時出
釜山、橫濱行 福州丸 十月 九日 正午出帆
鎭南浦、大連行 信濃川丸 十月十五日 / 信濃川丸 十一月二日 後二時出
大連直行 福州丸 十月廿八日 / 潮州丸 十月十七日 正午出帆
鎭南浦、龍岩浦、安東縣行 薩摩丸 十月十六日 正午出帆
清津、浦潮行(元山出帆) 八城津西津ニ寄港 浦潮不寄港
安平丸 十月廿六日 / 宮島丸 十月十二日 後二時出
上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十月廿七日 / 湖北丸 十月十六日 後四時 前六時出
御注意 切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船 仁川支店 電話 內國通運會社支店

朝鮮郵船出帆
本社 電話長一九五二番 京城取次店 松原運送店(電話長一七〇番)
金剛丸 京畿丸 黃海丸 成鏡丸 十月九日 十月十八日 十月廿日 十一月十三日 釜山發
穩城丸 昌平丸 鏡城丸 十月十日 十月八日 十月十四日 元山發
忠淸丸 平壤丸 十月二十日 十月十二日 元山發
永興丸 每月廿八回 元山發
盈德丸 十月 日 釜山發
江陵丸 襄陽丸 每 日 釜山 浦項發
三浦丸 十月 日 釜山發
海州丸 紀精丸 (巨濟丸 慶寶丸) 每日 釜山發
順天丸 三日目每ニ 木浦發
慶興丸 十月 九日 木浦發
慶興丸 十月十二日 木浦發
公州丸 十月 日 木浦發
宗信丸 十月 十日 仁川發
江原丸 十月 日 仁川發
掘水丸 晉州丸 十月 十月十二日 仁川發
全州丸 南陽丸 每日午前 仁川發

阿波共同汽船仁川出帆
第一共同丸 芝罘、大連行 十月八日後四時入 十月十日正午出帆
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目 野口商會 電話一七三番
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

商況

仁川米豆取引所

▲後場小鈍し ▲大に賣る ▲中の商內

九日の十二月限